

付属資料 1 電子媒体による管理項目の記入方法について

1 項目一覧

成果品管理に用いる属性項目を、業務に関する情報項目、個別測量業務に関する情報、及び個々の測量成果に関する項目に大別し、それぞれを「業務管理項目」、「測量情報管理項目」、「測量成果管理項目」とする。それぞれの項目一覧を以下に示す。

1-1 業務管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。	半角数字	8		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するフォルダ名称 (REPORTで固定)を記入する。	半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナルファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称 (REPORT/ORGで固定)を記入する。	半角英数 大文字	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するフォルダ名称 (DRAWINGで固定)を記入する。	半角英数 大文字	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するフォルダ名称 (PHOTOで固定)を記入する。	半角英数 大文字	127		
	測量データフォルダ名	測量データを格納するフォルダ名称 (SURVEYで固定)を記入する。	半角英数 大文字	127		
	地質データフォルダ名	地質データを格納するフォルダ名称 (BORINGで固定)を記入する。	半角英数 大文字	127		
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	業務管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	バージョン情報	業務管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先 (住所、電話番号等)を記入する。	同上	127		
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64		
業務件名等	TECRIS 登録番号	TECRIS センターが発行する受領書に記載される番号を記入する。	半角英数字	10		
	設計書コード	発注者機関毎に業務 1 件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	半角数字	30		
	業務名称	契約上の正式な業務名称を記入する。	全角文字	45		
	住所コード	TECRIS コード表より選択し記入する。(TECRIS の「業務対象地域コード」に対応) (複数記入可能)	半角数字	5		
	住所	住所を記入する。(TECRIS の「業務対象地域名称」に対応) (複数記入可能)	全角文字	64		
	業務対象水系路線等コード	TECRIS コード表より選択し記入する。(TECRIS の「業務対象水系・路線等コード」に対応) (複数記入可能)	半角数字	5		
	業務対象水系路線名	上記より詳細な情報がある場合は名称も記入する。(TECRIS の「業務対象水系・路線等名」に対応) (複数記入可能)	全角文字	20		
	履行期間-着手	契約上の履行期間の着手年月日を記入する。(TECRIS の「履行期間 着手年月日」に対応)	半角英数字	10		
	履行期間-完了	契約上の履行期間の完了年月日を記入する。(TECRIS の「履行期間 完了年月日」に対応)	半角英数字	10		

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
場所情報	起点側測点-n	(自)n+m「 」 nを4桁で記入する。	半角英数字	4		
	起点側測点-m	(自)n+m「 」 mを3桁で記入する。	半角英数字	3		
	終点側測点-n	(至)n+m「 」 nを4桁で記入する。	半角英数字	4		
	終点側測点-m	(至)n+m「 」 mを3で記入する。	半角英数字	3		
	起点側距離標-n	(自)n+m「 」 nを3桁で記入する。	半角英数字	3		
	起点側距離標-m	(自)n+m「 」 mを3桁で記入する。	半角英数字	3		
	終点側距離標-n	(至)n+m「 」 nを3桁で記入する。	半角英数字	3		
	終点側距離標-m	(至)n+m「 」 mを3桁で記入する。	半角英数字	3		
	西側境界座標経度	対象領域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角英数字	7		
	東側境界座標経度	対象領域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角英数字	7		
	北側境界座標緯度	対象領域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角英数字	7		
	南側境界座標緯度	対象領域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角英数字	7		
施設情報	施設名称	施設名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
発注者情報	発注者機関コード	TECRIS コード表より選択し記入する。 (TECRISの「発注機関コード」に対応)	半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注者機関事務所の名称を記入する。 (TECRISの「発注機関事務所名」に対応)	全角文字 半角英数字	30		
受注者情報	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。	同上	30		
	受注者コード	TECRIS センターから通知されるコード を記入する。(TECRISの「会社コード」 に対応)	半角英数字	8		
業務情報	主な業務の内容	TECRIS コード表より選択し記入する。	半角数字	1		
	業務分野コード	TECRIS コード表より選択し記入する。 (複数記入可能)	半角数字	7		
	業務キーワード	TECRIS の業務キーワード集より選択し 記入する。(複数記入可能)	全角文字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理 解しやすいように簡潔かつ正確に記入す る。	全角文字 半角英数字	300		
予備		その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可能)	同上	127		

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 : TECRIS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目
(TECRIS 情報の記入に当たっては、TECRIS の規則に従うこと)
: 電子媒体作成者が記入する項目
: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 : 必須記入項目 : 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
: 任意記入項目

1-2 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	助言番号	国土地理院が発行する「助言番号」を記入する。	半角英数字	8			
	製品仕様書名または作業規程名	当該測量の基となった製品仕様書または作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127			
	基準点測量成果格納用フォルダ名	基準点測量成果を格納するフォルダ名称（KITENで固定）を記入する。	半角英数大文字	8			
	水準測量成果格納用フォルダ名	水準測量成果を格納するフォルダ名称（SUIJUNで固定）を記入する。	同上	8			
	地形測量成果格納用フォルダ名	地形測量成果を格納するフォルダ名称（CHIKAIで固定）を記入する。	同上	8			
	路線測量成果格納用フォルダ名	路線測量成果を格納するフォルダ名称（ROSENで固定）を記入する。	同上	8			
	河川測量成果格納用フォルダ名	河川地形測量成果を格納するフォルダ名称（KASENで固定）を記入する。	同上	8			
	用地測量成果格納用フォルダ名	用地測量成果を格納するフォルダ名称（YOUCHIで固定）を記入する。	同上	8			
	ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称（DOCで固定）を記入する。	同上	8			
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	成果管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	バージョン情報	成果管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127			
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	メーカー連絡先	メーカー連絡先（住所、電話番号等）を記入する。	同上	127			
	ソフトメーカー用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64			
場所情報	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2			
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	区域情報	西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角英数字	7		2
		東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
		北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
		南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
		平面直角座標系	平面直角座標(19系)の系番号で記入する。	半角数字	2		
	西側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最西端座標をY座標で記入する。（m）	半角英数字	11		2	
	東側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最東端座標をY座標で記入する。（m）	同上	11			
	北側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最北端座標をX座標で記入する。（m）	同上	11			
南側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最南端座標をX座標で記入する。（m）	同上	11				

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
測量情報	測量区分	本要領（案）に規定する「測量区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32			
	測量細区分	本要領（案）に規定する「測量細区分」を記入する。	同上	同上			
	測量記録フォルダパス名	測量記録のフォルダパス名を記入する。（SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。）	半角英数字大文字	64			
	測量成果フォルダパス名	測量成果のフォルダパス名を記入する。（SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。）	半角英数字大文字	64		4	
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。（測量区域番号に記されたものの中から選択する。DTD 文法上改名）	半角数字	2			
	等級精度	等級	測量成果等の等級を表す記号（数字）を記入する。	半角数字	2		5
		地図情報レベル	測量成果等の地図情報レベルを記入する。	半角数字	32		
	画像種別	白黒、カラーの別を記入する。	半角数字	2			
	解像度	測量成果等の解像度を記入する（m）	同上	7			
	アナログデジタル区分	測量手法について、アナログ、デジタルの区分を記入する。	同上	1			
	新規修正区分	対象測量の新規測量か修正測量かの区分を記入する。	同上	1			
	面積	測量範囲の概略の面積を記入する。 単位：km ²	同上	6			
	距離	測量延長距離の概数 単位：km	同上	6			
	点数	基準点の点数を記入する。（与点の数は除く）	同上	4			
モデル数	空中三角測量における、モデルの数を記入する	同上	4				
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127			
	予備	その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可能)	同上	同上			

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】：電子媒体作成者が記入する項目

：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】：必須記入項目：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）

：任意記入項目

1：本測量業務の対象となった測量区域の数だけ繰り返して記入する。（例：3箇所が測量実施対象 3回繰り返す）

2：緯度経度、または平面直角座標のどちらかまたは双方を記入する。

3：本測量業務で行われた測量種類を「測量細区分」の単位（測量実施場所が異なる場合は別物とする）で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。

4：当該測量細区分の成果が「測量成果」サブフォルダに格納されている場合は必ず記入する。

5：等級、地図情報レベルのどちらかを必ず記入する。

1-3 測量成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	成果管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	バージョン情報	成果管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127			
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	メーカー連絡先	メーカー連絡先（住所、電話番号等）を記入する。	同上	127			
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64			
測量成果情報	測量区分フォルダ名	「測量区分」のフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）	半角英数字大文字	8			
	測量成果区分フォルダ名	測量成果区別（測量記録、成果データ）のフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）	同上	同上			
	測量細区分フォルダ名	「表 2-1」で定義されたフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）	同上	同上			
	測量成果名称	測量成果の名称を記入する（例：精度管理表、観測手簿等）	全角文字 半角英数字	64			
	測量成果ファイル形式	測量成果ファイルの記録形式を記入する。	半角英数字	12			
	測量成果レコードフォーマット	測量成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字	64			
	測量成果作成ソフトウェア情報	測量成果作成ソフトウェア名	測量成果ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
		測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	測量成果ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先	メーカー連絡先（住所、電話番号等）を記入する。	同上	127		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64		
成果ファイル情報	測量成果ファイル名	測量成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数字大文字	12			
	測量成果ファイル名副題	内容が分かる程度の副題を記入する	全角文字 半角英数字	64			
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	同上	127			
	予備	その他予備事項があれば記入する。（複数記入可能）	同上	同上			

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】：電子媒体作成者が記入する項目
：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
【必要度】：必須記入項目：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
：任意記入項目

- 1：格納されている成果の種類（成果表、点の記、精度管理表、...）の数分だけ繰り返し記入する。
2：成果ファイル情報については、成果の数だけ繰り返し記入する。

2 記入要領

業務管理に用いる属性項目について、下記の書式で各項目の記入方法を示す。

項目名	(1)		
データ表現	(2)	文字数	(3)
概要	(4)		
記入必要度	(5)		
記入が必要な場合	(6)		
記入例	(7)		
XML 表記例	(8)		
備考	(9)		
記入規則	(10)		

(1) 項目名

管理項目の名称。

(2) データ表現

記入可能なデータの形式。

各項目に記入する文字種はこの制限に従う。

1) 文字

原則として全角文字記号、半角英数字記号を記入可とする項目。

ただし、項目によっては制限事項があり、(10)記入規則に明示する。

2) 数字

半角数字のみ記入可

(3) 文字数

記入可能な文字数を示す。

全角文字のみ記入可とする項目については、(10)記入規則に明示する。

また、常にこの文字数で記入する必要がある項目については、(10)記入規則に明示する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

(4) 概要

記入すべき内容を示す。

(5) 記入必要度

記入の必要度を 3 段階に分類し、各々の記入目安を下記の通りとする。

1) 必須記入項目

必ず記入すべき項目。

特に理由のない限り、必ず記入する。

2) 条件付き必須項目（データが分かる場合は必ず記入する）

原則として、記入すべき内容が明確である場合は必ず記入する。

場合によっては、記入すべき事項が明確でない場合があるので、その場合は空欄のまま提出する。

3) 任意記入項目

原則として、記入の必要はなく空欄のまま提出する。

特記すべき事項があった場合のみ記入する。

なお、空欄の項目については、INDEX_D.XML 等の各管理ファイルに出力する必要はない。

(6) 記入が必要な場合

条件付き必須項目、任意記入項目について、記入を行う条件を示す。

(7) 記入例

記入例を示す。

(8) XML 表記例

記入例で示した項目について、INDEX_D.XML 等の各管理ファイルでの表記例を示す。

(9) 備考

記入内容など、各項目に関する補足を示す。

(10) 記入規則

記入できる文字に関する制限や記入すべき桁数に関する制限など、記入規則に関わる制限事項を示す。

3 業務管理項目の記入方法

3-1 基礎情報

(1) メディア番号

項目名	メディア番号		
データ表現	半角数字	文字数	8
概要	成果品電子媒体の通し番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	3枚組 CD-R の 2 枚目の場合 メディア番号 : <input type="text" value="2"/>		
XML 表記例	<メディア番号>2</メディア番号>		
備考	なし		
記入規則	半角数字のみ使用する。空欄不可。		

(2) メディア総枚数

項目名	メディア総枚数		
データ表現	半角数字	文字数	8
概要	成果品電子媒体の総枚数を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	総枚数が 3 枚の場合。 メディア総枚数 : <input type="text" value="3"/>		
XML 表記例	<メディア総枚数>3</メディア総枚数>		
備考	なし		
記入規則	半角数字のみを使用する。空欄不可。		

(3) 報告書フォルダ名

項目名	報告書フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概要	報告書ファイルを格納するフォルダを INDEX_D.XML のフォルダ（電子媒体ルート）に対する相対パスで記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 報告書フォルダ名： REPORT		
XML 表記例	<報告書フォルダ名>REPORT</報告書フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(4) 報告書オリジナルファイルフォルダ名

項目名	報告書オリジナルファイルフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概要	報告書オリジナルファイル名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 報告書オリジナルファイルフォルダ名： REPORT/ORG		
XML 表記例	<報告書オリジナルファイルフォルダ名> REPORT/ORG</報告書オリジナルファイルフォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(5) 図面フォルダ名

項目名	図面フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概 要	図面を格納するフォルダを INDEX_D.XML のフォルダ（電子媒体ルート）に対する相対パスで記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 図面フォルダ名： <input type="text" value="DRAWING"/>		
XML 表記例	<図面フォルダ名>DRAWING</図面フォルダ名>		
備 考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(6) 写真フォルダ名

項目名	写真フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概 要	写真を格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 写真管理ファイルフォルダ名： <input type="text" value="PHOTO"/>		
XML 表記例	<写真管理ファイルフォルダ名>PHOTO</写真管理ファイルフォルダ名>		
備 考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(7) 測量データフォルダ名

項目名	測量データフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概要	測量データを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 測量データフォルダ名： SURVEY		
XML 表記例	<測量データフォルダ名>SURVEY</測量データフォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(8) 地質データフォルダ名

項目名	地質データフォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概要	地質データを格納するフォルダ名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入。		
記入例	次の通り記入する。 地質データフォルダ名： BORING		
XML 表記例	<地質データフォルダ名>BORING</地質データフォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

3-2 ソフトウェア情報

(9) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	業務管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_D.XML の作成及び修正に業務管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	業務管理ファイル作成ソフトウェア名が“業務管理ファイル作成簡易システム”であった場合。 ソフトウェア名： <input type="text" value="業務管理ファイル作成簡易システム"/>		
XML 表記例	<ソフトウェア名>業務管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 INDEX_D.XML ファイルを他の業務管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(10) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概要	業務管理ファイル作成ソフトウェアのバージョン情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_D.XML の作成及び修正に業務管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	業務管理ファイル作成ソフトウェアが“業務管理ファイル作成簡易システム Ver1.0”であった場合。 バージョン情報： <input type="text" value="1.0"/>		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 INDEX_D.XML ファイルを他の業務管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(11) メーカー名

項目名	メーカー名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	業務管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカー名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_D.XML の作成及び修正に業務管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー名が” 株式会社”であった場合。 メーカー名： <input type="text" value="株式会社"/>		
XML 表記例	<メーカー名> 株式会社</メーカー名>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 INDEX_D.XML ファイルを他の業務管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(12) メーカー連絡先

項目名	メーカー連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	業務管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	INDEX_D.XML の作成及び修正に業務管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー連絡先が” 県 市 1-1-1 TEL : 0XX-XXX-XXXX FAX : 0XX-XXX-XXXX”であった場合。 メーカー連絡先： <input type="text" value="県 市 1-1-1 TEL : 0XX-XXX-XXXX FAX : 0XX-XXX-XXXX"/>		
XML 表記例	<メーカー連絡先> 県 市 1-1-1 TEL : 0XX-XXX-XXXX FAX : 0XX-XXX-XXXX</メーカー連絡先>		
備考	なし		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 INDEX_D.XML ファイルを他の業務管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(13) ソフトメーカー用 TAG

項目名	ソフトメーカー用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概 要	ソフトウェアメーカー予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。		
記入例	- 省略 -		
XML 表記例	- 省略 -		
備 考	なし		
記入規則	INDEX_D.XML を他の業務管理ファイル作成ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

3-3 業務件名等

(14) TECRIS 登録番号

項目名	TECRIS 登録番号		
データ表現	半角英数字	文字数	10
概要	TECRIS センターが発行する受領書に記載される番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	TECRIS 登録番号が “ 3000041690 ” であった場合。 TECRIS 登録番号 : <input type="text" value="3000041690"/>		
XML 表記例	< TECRIS 登録番号>3000041690</ TECRIS 登録番号>		
備考	当該項目は、TECRIS の「TECRIS 登録番号」に相当する。		
記入規則	TECRIS 登録番号がない業務は、「0」を記入する。空欄不可。		

(15) 設計書コード

項目名	設計書コード		
データ表現	半角数字	文字数	30
概要	発注者機関毎に業務 1 件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	設計書コードが “ 835070058 ” であった場合。 設計書コード : <input type="text" value="835070058"/>		
XML 表記例	<設計書コード>835070058</設計書コード>		
備考	当該項目は、TECRIS の「設計書コード」に相当する。		
記入規則	空欄不可。		

(16) 業務名称

項目名	業務名称		
データ表現	全角文字	文字数	45
概要	契約上の正式な業務名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	業務名称 “ 川流域総合治水計画業務 ” であった場合。 業務名称 : <input type="text" value="川流域総合治水計画業務"/>		
XML 表記例	<業務名称> 川流域総合治水計画業務</業務名称>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務名称」に相当する。		
記入規則	設計図書に記載されている、正式の業務名称を記入する。 空欄不可。		

(17) 住所コード

項目名	住所コード		
データ表現	半角数字	文字数	5
概要	全都道府県市町村から選択し記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	業務対象の地域が明確である場合は記入する。		
記入例	住所コードが “ 12204 ” であった場合。 住所コード : <input type="text" value="12204"/>		
XML 表記例	<住所コード>12204</住所コード>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務対象地域コード」に相当する。		
記入規則	TECRIS の「業務対象地域コード」に従い、記入する。		

(18) 住所

項目名	住所		
データ表現	全角文字	文字数	64
概要	業務対象地域の住所を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	住所が明確である場合は記入する。		
記入例	住所が“ 県 市××町 丁目 番地 ”であった場合。 住所： <input type="text" value="県 市××町 丁目 番地"/>		
XML 表記例	<住所> 県 市××町 丁目 番地</住所>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務対象地域名称」に相当する。		
記入規則	設計図書に記載されている住所を可能な限り詳細に記入する。 複数記入可。		

(19) 業務対象水系路線等コード

項目名	業務対象水系路線等コード		
データ表現	半角数字	文字数	5
概要	TECRIS コードの業務対象水系・路線等コードより選択し記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	業務対象水系路線等が明確である場合は記入する。		
記入例	業務対象水系路線等コードが“ 19303 ”であった場合。 業務対象水系路線等コード： <input type="text" value="19303"/>		
XML 表記例	<業務対象水系路線水系等コード>19303</業務対象水系路線水系等コード>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務対象水系・路線等コード」に相当する。		
記入規則	複数記入可。		

(20) 業務対象水系路線名

項目名	業務対象水系路線名		
データ表現	全角文字	文字数	20
概要	業務対象水系路線名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	業務対象水系路線名の情報がある場合は記入する。		
記入例	業務対象水系路線名が“ <input type="text"/> 川”であった場合。 業務対象水系路線名： <input type="text"/> 川		
XML 表記例	<業務対象水系路線水系名> 川中流部 市付近</業務対象水系路線水系名>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務対象水系・路線等名」に相当する。		
記入規則	業務対象水系路線名は正式名称を記入する。 複数記入可。		

(21) 履行期間-着手

項目名	履行期間-着手		
データ表現	半角数字	文字数	10
概要	契約上の履行期間の着手年月日を CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。(CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日)		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	履行期間が平成 10 年 10 月 1 日から平成 11 年 3 月 25 日までの場合。 履行期間-着手： <input type="text"/> 1998-10-01		
XML 表記例	<履行期間-着手>1998-10-01</履行期間-着手>		
備考	当該項目は、TECRIS の「履行期間 着手年月日」に相当する。		
記入規則	月日が 1 桁の場合“0”を付加して、必ず 10 桁で記入する。 “1999-01-01”空欄不可。		

(22) 履行期間-完了

項目名	履行期間-完了		
データ表現	半角数字	文字数	10
概要	契約上の履行期間の完了年月日を CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。(CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日)		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	履行期間が平成 10 年 10 月 1 日から平成 11 年 3 月 25 日までの場合。 履行期間-完了： <input type="text" value="1999-03-25"/>		
XML 表記例	<履行期間-完了>1999-03-25</履行期間-完了>		
備考	当該項目は、TECRIS の「履行期間 完了年月日」に相当する。		
記入規則	月日が 1 桁の場合 “ 0 ” を付加して、必ず 8 桁で記入する。 “ 1999-01-01 ” 空欄不可。		

3-4 場所情報

(23) 起点側測点-n

項目名	起点側測点-n		
データ表現	半角英数字	文字数	4
概要	起点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	起点側測点-n の n+m の n が “ 0015 ” であった場合。 起点側測点-n : <input type="text" value="0015"/>		
XML 表記例	<起点側測点-n >0015</起点側測点-n >		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(24) 起点側測点-m

項目名	起点側測点-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概要	起点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	起点側測点-m の n+m の m が “ 008 ” であった場合。 起点側測点-m : <input type="text" value="008"/>		
XML 表記例	<起点側測点-m >008</起点側測点-m >		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(25) 終点側測点-n

項目名	終点側測点-n		
データ表現	半角英数字	文字数	4
概要	終点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	終点側測点-nのn+mのnが“0018”であった場合。 終点側測点-n： <input type="text" value="0018"/>		
XML表記例	<終点側測点-n>0018</終点側測点-n>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(26) 終点側測点-m

項目名	終点側測点-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概要	終点側測点を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	終点側測点-mのn+mのmが“005”であった場合。 終点側測点-m： <input type="text" value="005"/>		
XML表記例	<終点側測点-m>05</終点側測点-m>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(27) 起点側距離標-n

項目名	起点側距離標-n		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概 要	起点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	起点側距離標-nのn+mのnが“031”であった場合。 起点側距離標-n： <input type="text" value="031"/>		
XML 表記例	<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n >		
備 考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(28) 起点側距離標-m

項目名	起点側距離標-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概 要	起点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	起点側距離標-mのn+mのmが“045”であった場合。 起点側距離標-m： <input type="text" value="045"/>		
XML 表記例	<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m >		
備 考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(29) 終点側距離標-n

項目名	終点側距離標-n		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概要	終点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	終点側距離標-nのn+mのnが“036”であった場合。 終点側距離標-n： <input type="text" value="036"/>		
XML表記例	<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(30) 終点側距離標-m

項目名	終点側距離標-m		
データ表現	半角英数字	文字数	3
概要	終点側距離標を認識するための情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を記入する場合。		
記入例	終点側距離標-mのn+mのmが“067”であった場合。 終点側距離標-m： <input type="text" value="067"/>		
XML表記例	<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(31) 西側境界座標経度

項目名	西側境界座標経度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域の最西端の外側境界を経度で記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	西側境界の経度が“138度37分30秒”であった場合。 西側境界座標経度： <input type="text" value="1383730"/>		
XML表記例	<西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(32) 東側境界座標経度

項目名	東側境界座標経度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域の最東端外側境界を経度で記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	東側境界の経度が“138度45分00秒”であった場合。 東側境界座標経度： <input type="text" value="1384500"/>		
XML表記例	<東側境界座標経度>1384500</東側境界座標経度>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(33) 北側境界座標緯度

項目名	北側境界座標緯度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域の最北端の座標を外側境界を緯度で記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	北側境界の緯度が“35度25分00秒”であった場合。 北側境界座標緯度：0352500		
XML表記例	<北側境界座標緯度>0352500</北側境界座標緯度>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

(34) 南側境界座標緯度

項目名	南側境界座標緯度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域の最南端の座標を外側境界を緯度で記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	南側境界の緯度が“35度20分00秒”であった場合。 南側境界座標緯度：0352000		
XML表記例	<南側境界座標緯度>0352000</南側境界座標緯度>		
備考	場所情報の記入は、[測点]、[距離標]、[境界座標]の何れかを記入すること。 とくに、[境界座標]を記入することが望ましい。		
記入規則	なし		

3-5 施設情報

(35) 施設名称

項目名	施設名称		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	施設名称を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	施設情報を記入する場合。		
記入例	施設名称が、“ トンネル ”であった場合。 施設名称： <input type="text" value="トンネル"/>		
XML 表記例	<施設名称> トンネル</施設名称>		
備考	なし		
記入規則	なし		

3-6 発注者情報

(36) 発注者機関コード

項目名	発注者機関コード		
データ表現	半角数字	文字数	8
概要	発注者機関コードを TECRIS コード表から選択して記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	発注者機関コードが“10102123”であった場合。 発注者機関コード： <input type="text" value="10102123"/>		
XML 表記例	<発注者機関コード>10102123</発注者機関コード>		
備考	当該項目は、TECRIS の「発注機関コード」に相当する。		
記入規則	空欄不可。		

(37) 発注者機関事務所名

項目名	発注者機関事務所名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	30
概要	発注機関事務所の名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	発注者機関事務所名が“国土交通省 地方整備局 工事事務所”であった場合。 発注者機関事務所名： <input type="text" value="国土交通省 地方整備局 工事事務所"/>		
XML 表記例	<発注者機関事務所名>国土交通省 地方整備局 工事事務所</発注者機関事務所名>		
備考	当該項目は、TECRIS の「発注機関事務所名」に相当する。		
記入規則	空欄不可。		

3-7 受注者情報

(38) 受注者名

項目名	受注者名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	30
概要	企業名(正式名称)を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	受注者名が “ 測量株式会社 ” であった場合。 受注者名 : <input type="text" value="測量株式会社"/>		
XML 表記例	<受注者名> 測量株式会社</受注者名>		
備考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(39) 受注者コード

項目名	受注者コード		
データ表現	半角英数字	文字数	8
概要	TECRIS センターから通知されるコードを記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	受注者コードが “ 00000123 ” であった場合。 受注者コード : <input type="text" value="00000123"/>		
XML 表記例	<受注者コード>00000123</受注者コード>		
備考	当該項目は、TECRIS の「会社コード」に相当する。		
記入規則	受注者コードを持たない受注者は、「0」を記入する。 空欄不可。		

3-8 業務情報

(40) 主な業務の内容

項目名	主な業務の内容		
データ表現	半角文字	文字数	1
概要	主な業務の内容を「1.調査設計」「2.地質調査」「3.測量」「4.その他」から選択し番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	主な業務の内容が“測量”であった場合 主な業務の内容： <input type="text" value="3"/>		
XML 表記例	<主な業務の内容>3</主な業務の内容>		
備考	当該項目は、TECRIS の「主な業務の内容」に相当する。		
記入規則	空欄不可。		

(41) 業務分野コード

項目名	業務分野コード		
データ表現	半角数字	文字数	7
概要	業務分野コードを TECRIS コード表（付属資料 5 による）より選択し記入する。		
記入必要度	必須記入（1 つ以上 3 つ以内）		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	業務分野コードが“3736020”（河川測量）であった場合 業務分野コード： <input type="text" value="3736020"/>		
XML 表記例	<業務分野コード>3736020</業務分野コード>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務分野コード」に相当する。		
記入規則	複数記入可。空欄不可。		

(42) 業務キーワード

項目名	業務キーワード		
データ表現	全角文字	文字数	10
概要	TECRIS 業務キーワード集より選択し記入する。		
記入必要度	必須記入（1 つ以上 5 つ以内）		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	業務キーワードが“河川計画”で、そのほかに業務キーワードが“河川環境、オープンスペース”であった場合。 最初の業務キーワード：河川計画 業務キーワード：河川環境 業務キーワード：オープンスペース		
XML 表記例	<業務キーワード>河川計画</業務キーワード> <業務キーワード>河川環境</業務キーワード> <業務キーワード>オープンスペース</業務キーワード>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務キーワード」に相当する。		
記入規則	複数記入可。空欄不可。最初のキーワードについては、付属資料 5 から選択して記入する。		

(43) 業務概要

項目名	業務概要		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	300
概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次のように記入する。 業務概要：本業務は、川を対象として、都市化の進む市の貴重なオープンスペースとしての役割を重視した流域総合治水計画を立案するため、基準点測量、及び地形測量により河川流域の地形図を作成した。		
XML 表記例	<業務概要>本業務は、川を対象として、都市化の進む市の貴重なオープンスペースとしての役割を重視した流域総合治水計画を立案するため、基準点測量、及び地形測量により河川流域の地形図を作成した。</業務概要>		
備考	当該項目は、TECRIS の「業務概要」に相当する。		
記入規則	空欄不可。		

3-9 予備

(44) 予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	業務内容等に関する予備欄。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	その他予備事項がある場合記入する。		
記入例	省略		
XML 表記例	省略		
備考	なし		
記入規則	複数記入可。		

4 測量情報管理項目の記入方法

4-1 基礎情報

(1) 助言番号

項目名	助言番号		
データ表現	半角英数字	文字数	8
概要	国土地理院が発行する「助言番号」を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	公共測量の届出を行い、地方測量部等から発行された助言番号を記入する。その際、受取った文書番号が「国地関公発第052号平成13年月日」であった場合。 助言番号： <u>H13C0052</u>		
XML表記例	<助言番号>H13C0052</助言番号>		
備考	なし		
記入規則	半角英数字のみ使用する。空欄不可。		

(2) 製品仕様書名または作業規程名

項目名	製品仕様書名または作業規程名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	当該測量の基となった製品仕様書または作業規程名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	当該測量作業の基となった製品仕様書名または作業規程名が『国土交通省公共測量作業規程(平成14年度4月1日)』であった場合。 製品仕様書名または作業規程名： <u>国土交通省公共測量作業規程(平成14年度4月1日)</u>		
XML表記例	<製品仕様書名または作業規程名>国土交通省公共測量作業規程(平成14年度4月1日)</製品仕様書名または作業規程名>		
備考	なし		
記入規則	空欄不可。		

(3) 基準点測量成果格納用フォルダ名

項目名	基準点測量成果格納用フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	8
概要	基準点測量成果を格納するフォルダ名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 基準点測量成果格納用フォルダ名： KITEN		
XML 表記例	<基準点測量成果格納用フォルダ名>KITEN</基準点測量成果格納用フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(4) 水準測量成果格納用フォルダ名

項目名	水準測量成果格納用フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	8
概要	水準測量成果を格納するフォルダ名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 水準測量成果格納用フォルダ名： SUIJUN		
XML 表記例	<水準測量成果格納用フォルダ名>SUIJUN</水準測量成果格納用フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(5) 地形測量成果格納用フォルダ名

項目名	地形測量成果格納用フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	8
概要	地形測量成果を格納するフォルダ名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 地形測量成果格納用フォルダ名： CHIKEI		
XML 表記例	<地形測量成果格納用フォルダ名>CHIKEI</地形測量成果格納用フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(6) 路線測量成果格納用フォルダ名

項目名	路線測量成果格納用フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	8
概要	路線測量成果を格納するフォルダ名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 路線測量成果格納用フォルダ名： ROSEN		
XML 表記例	<路線測量成果格納用フォルダ名>ROSEN</路線測量成果格納用フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(7) 河川測量成果格納用フォルダ名

項目名	河川測量成果格納用フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	8
概要	河川測量成果を格納するフォルダ名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 河川測量成果格納用フォルダ名： KASEN		
XML 表記例	<河川測量成果格納用フォルダ名>KASEN</河川測量成果格納用フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(8) 用地測量成果格納用フォルダ名

項目名	用地測量成果格納用フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	8
概要	用地測量成果を格納するフォルダ名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 用地測量成果格納用フォルダ名： YOUCHI		
XML 表記例	<用地測量成果格納用フォルダ名>YOUCHI</用地測量成果格納用フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(9) ドキュメント格納用フォルダ名

項目名	ドキュメント格納用フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	8
概 要	ドキュメント類を格納するフォルダ名称を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 ドキュメント格納用フォルダ名： <input type="text" value="DOC"/>		
XML 表記例	<ドキュメント格納用フォルダ名>DOC</ドキュメント格納用フォルダ名>		
備 考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

4-2 ソフトウェア情報

(10) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	測量情報管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURVEY.XML の作成及び修正に測量情報管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	測量情報管理ファイル作成ソフトウェア名が“測量情報管理ファイル作成簡易システム”であった場合。 ソフトウェア名： <u>測量情報管理ファイル作成簡易システム</u>		
XML 表記例	<ソフトウェア名>測量情報管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。SURVEY.XML ファイルを他の測量情報管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(11) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概要	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアのバージョン情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURVEY.XML の作成及び修正に測量情報管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが“測量情報管理ファイル作成簡易システム Ver1.0”であった場合。 バージョン情報： <u>1.0</u>		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。SURVEY.XML ファイルを他の測量情報管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(12) メーカー名

項目名	メーカー名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	業務管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカー名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURVEY.XML の作成及び修正に測量情報管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー名が“ 株式会社”であった場合。 メーカー名： <input type="text" value="株式会社"/>		
XML 表記例	<メーカー名> 株式会社</メーカー名>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。SURVEY.XML ファイルを他の測量情報管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(13) メーカー連絡先

項目名	メーカー連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURVEY.XML の作成及び修正に測量情報管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー連絡先が“ 県 市 1-1-1 TEL : 0XX-XXX-XXXX FAX : 0XX-XXX-XXXX”であった場合。 メーカー連絡先： <input type="text" value="県 市 1-1-1 TEL : 0XX-XXX-XXXX FAX : 0XX-XXX-XXXX"/>		
XML 表記例	<メーカー連絡先> 県 市 1-1-1 TEL : 0XX-XXX-XXXX FAX : 0XX-XXX-XXXX</メーカー連絡先>		
備考	なし		
記入規則	測量情報管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。SURVEY.XML ファイルを他の測量情報管理ファイル作成ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(14) ソフトメーカー用 TAG

項目名	ソフトメーカー用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概 要	ソフトウェアメーカー予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。		
記入例	- 省略 -		
XML 表記例	- 省略 -		
備 考	なし		
記入規則	SURVEY.XML を他の測量情報管理ファイル作成ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

4-3 場所情報 1

1: 本測量業務の対象となった測量区域の数だけ繰り返して記入する。(例: 3箇所が測量実施対象 3回繰り返す)

(15) 測量区域番号

項目名	測量区域番号		
データ表現	半角数字	文字数	2
概要	測量を行った区域の番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量を行った区域の番号が"2"であった場合。 測量区域番号: <input type="text" value="2"/>		
XML 表記例	<測量区域番号>2</測量区域番号>		
備考	なし。		
記入規則	番号は「1」より開始し、半角数字のみ使用する。		

(16) 測量区域名

項目名	測量区域名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	測量を行った区域の名称を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	複数区域で測量を行った場合、測量区域を区別するため記入する。		
記入例	測量を行った区域の名称が" 地区"であった場合。 測量区域名: <input type="text" value="地区"/>		
XML 表記例	<測量区域名> 地区</測量区域名>		
備考	なし。		
記入規則	市町村名、地区名等、測量を行った区域が特定できるものを記入する。		

(17) 区域情報 2

2：緯度経度、または平面直角座標のどちらかまたは双方を記入する。

1) 西側境界座標経度

項目名	西側境界座標経度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	西側境界の経度が“138度37分30秒”であった場合。 西側境界座標経度：1383730		
XML表記例	<西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>		
備考	区域情報の記入は、[境界座標]、[平面直角座標]の何れかを記入すること。		
記入規則	なし		

2) 東側境界座標経度

項目名	東側境界座標経度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域または測量地域の最東端の座標をで表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	東側境界の経度が“138度35分00秒”であった場合。 東側境界座標経度：1383500		
XML表記例	<東側境界座標経度>1383500</東側境界座標経度>		
備考	区域情報の記入は、[境界座標]、[平面直角座標]の何れかを記入すること。		
記入規則	なし		

3) 北側境界座標緯度

項目名	北側境界座標緯度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	北側境界の経度が“35度25分00秒”であった場合。 北側境界座標経度: <input type="text" value="352500"/>		
XML表記例	<北側境界座標経度>352500</北側境界座標経度>		
備考	区域情報の記入は、[境界座標]、[平面直角座標]の何れかを記入すること。		
記入規則	なし		

4) 南側境界座標緯度

項目名	南側境界座標緯度		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	場所情報を境界座標で記入する場合。		
記入例	南側境界の経度が“35度20分00秒”であった場合。 南側境界座標経度: <input type="text" value="352000"/>		
XML表記例	<南側境界座標経度>352000</南側境界座標経度>		
備考	区域情報の記入は、[境界座標]、[平面直角座標]の何れかを記入すること。		
記入規則	なし		

5) 平面直角座標系

項目名	平面直角座標系		
データ表現	半角数字	文字数	2
概要	平面直角座標（19系）の系番号で記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を平面直角座標で記入する場合。		
記入例	平面直角座標系が“9”であった場合。 平面直角座標系： <input type="text" value="9"/>		
XML表記例	<平面直角座標系>9</平面直角座標系>		
備考	区域情報の記入は、[境界座標]、[平面直角座標]の何れかを記入すること。		
記入規則	なし		

6) 西側境界平面直角座標

項目名	西側境界平面直角座標		
データ表現	半角英数字	文字数	11
概要	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最西端座標をY座標で記入する。 (m)		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を平面直角座標で記入する場合。		
記入例	平面直角座標が“-60000.00”であった場合。 平面直角座標： <input type="text" value="-60000.00"/>		
XML表記例	<西側境界平面直角座標>-60000.00</西側境界平面直角座標>		
備考	なし		
記入規則	なし		

7) 東側境界平面直角座標

項目名	東側境界平面直角座標		
データ表現	半角英数字	文字数	11
概要	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。 （ m ）		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を平面直角座標で記入する場合。		
記入例	平面直角座標が “ -40000.00 ” であった場合。 平面直角座標： <input type="text" value="-40000.00"/>		
XML 表記例	<東側境界平面直角座標>-40000.00</東側境界平面直角座標>		
備考	なし		
記入規則	なし。		

8) 北側境界平面直角座標

項目名	北側境界平面直角座標		
データ表現	半角英数字	文字数	11
概要	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。 （ m ）		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を平面直角座標で記入する場合。		
記入例	平面直角座標が “ -28500.00 ” であった場合。 平面直角座標： <input type="text" value="-28500.00"/>		
XML 表記例	<北側境界平面直角座標>-28500.00</北側境界平面直角座標>		
備考	なし		
記入規則	なし。		

9) 南側境界平面直角座標

項目名	南側境界平面直角座標		
データ表現	半角英数字	文字数	11
概要	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。 (m)		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	場所情報を平面直角座標で記入する場合。		
記入例	平面直角座標が “ -39000.00 ” であった場合。 平面直角座標 : <input type="text" value="-39000.00"/>		
XML 表記例	<南側境界平面直角座標>-39000.00</南側境界平面直角座標>		
備考	なし		
記入規則	なし。		

4-4 測量情報 3

3: 本測量業務で行われた測量種類を「測量細区分」の単位(測量実施場所が異なる場合は別物とする)で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。

(18) 測量区分

項目名	測量区分		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	32
概要	本要領(案)に規定する「測量区分」を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量区分が“地形測量”であった場合。 測量区分: <input type="text" value="地形測量"/>		
XML表記例	<測量区分>地形測量</測量区分>		
備考	なし		
記入規則	空欄不可		

(19) 測量細区分

項目名	測量細区分		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	32
概要	本要領(案)に規定する「測量細区分」を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量細区分が“空中三角測量”であった場合。 測量区分: <input type="text" value="空中三角測量"/>		
XML表記例	<測量細区分>空中三角測量</測量細区分>		
備考	ここで言う測量細区分は、公共測量作業規程に示されるものではなく、本要領案で規定されたものである。		
記入規則	空欄不可		

(20) 測量記録フォルダパス名

項目名	測量記録フォルダパス名		
データ表現	半角英数字大文字	文字数	64
概要	測量記録のフォルダパス名を記入する。 (SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量記録を格納したフォルダパスが “ SURVEY/CHIKAI/WORK/KUSAN_A ” であった場合。 測量区分： <u>SURVEY/CHIKAI/WORK/KUSAN_A</u>		
XML 表記例	<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/WORK/KUSAN_A</測量記録フォルダパス名>		
備考	なし		
記入規則	空欄不可		

(21) 測量成果フォルダパス名 4

項目名	測量成果フォルダパス名		
データ表現	半角英数字大文字	文字数	64
概要	測量成果のフォルダパス名を記入する。 (SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)		
記入必要度	条件付き必須記入 (データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	当該測定の成果が成果フォルダに格納されている場合に記入		
記入例	測量成果を格納したフォルダパスが“ SURVEY/CHIKAI/WORK/KUSAN_A ” であった場合。 測量区分： <u>SURVEY/CHIKAI/WORK/KUSAN_A</u>		
XML 表記例	<測量成果フォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/WORK/KUSAN_A</測量成果フォルダパス名>		
備考	なし		
記入規則	当該測量細区分の成果が「測量成果」サブフォルダに格納されている場合は必ず記入する。		

4：当該測量細区分の成果が「測量成果」サブフォルダに格納されている場合は必ず記入する。

(22) 測量区域 No

項目名	測量区域 No		
データ表現	半角数字	文字数	2
概要	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量区域番号が“2”であった場合。 測量区域番号： <input type="text" value="2"/>		
XML 表記例	<測量区域番号>2</測量区域番号>		
備考	なし		
記入規則	空欄不可		

(23) 精度等級 5

5：等級、地図情報レベルのどちらかを必ず記入する。

1) 等級

項目名	等級		
データ表現	半角数字	文字数	2
概要	測量成果等の等級を表す記号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	基準点測量、水準測量を行った場合		
記入例	行った測量が“2級基準点測量”であった場合。 等級： <input type="text" value="22"/>		
XML 表記例	<等級>22</等級>		
備考	記入する際は、本要領案の「3-2 測量情報管理項目」を参照		
記入規則	等級、地図情報レベルのどちらかを必ず記入する。		

2) 地図情報レベル

項目名	地図情報レベル		
データ表現	半角数字	文字数	32
概要	測量成果等の地図情報レベルを記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	測量成果を地図情報レベル（縮尺）で表す場合		
記入例	地図情報レベルが“1/25,000”であった場合。 地図情報レベル： <input type="text" value="25000"/>		
XML 表記例	<地図情報レベル>25000</地図情報レベル>		
備考	なし		
記入規則	等級、地図情報レベルのどちらかを必ず記入する。		

(24) 画像種別

項目名	画像種別		
データ表現	半角数字	文字数	2
概要	白黒、カラーの別を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	成果画像の種別（白黒、カラー）を表す場合に必要		
記入例	画像種別が“カラー”であった場合。 画像種別： <input type="text" value="2"/>		
XML 表記例	<地図情報レベル>2</地図情報レベル>		
備考	なし		
記入規則	白黒 「1」、カラー 「2」		

(25) 解像度

項目名	解像度		
データ表現	半角数字	文字数	7
概要	測量成果等の解像度を記入する (m)		
記入必要度	条件付き必須記入 (データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	解像度を表す場合に記入		
記入例	解像度が“25 cm”であった場合。 解像度: <input type="text" value="0.25"/>		
XML 表記例	<解像度>0.25</解像度>		
備考	なし		
記入規則	m単位で入力する。(25 cm 「0.25」、25 m 「25」)		

(26) アナログデジタル区分

項目名	アナログデジタル区分		
データ表現	半角数字	文字数	1
概要	測量手法について、アナログ、デジタルの区分を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入 (データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	測量手法を表す場合に記入		
記入例	アナログデジタル区分が“デジタル”であった場合。 アナログデジタル区分: <input type="text" value="2"/>		
XML 表記例	<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>		
備考	記入する際は、本要領案の「3-2 測量情報管理項目」を参照		
記入規則	アナログ 「1」、デジタル 「2」		

(27) 新規修正区分

項目名	新規修正区分		
データ表現	半角数字	文字数	1
概要	対象測量の新規測量か修正測量かの区分を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	新規 / 修正 / 定期の区分を表す場合に記入		
記入例	新規修正区分が“新規”であった場合。 新規修正区分： <input type="text" value="1"/>		
XML 表記例	<新規修正区分>1</新規修正区分>		
備考	記入する際は、本要領案の「3-2 測量情報管理項目」を参照		
記入規則	新規測量 「1」、修正測量 「2」、定期測量 「3」		

(28) 面積

項目名	面積		
データ表現	半角数字	文字数	6
概要	測量範囲の概略の面積を記入する。 単位:km ²		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	測量範囲の面積（概略）を表す場合に記入		
記入例	面積が“125.5km ² ”であった場合。 面積： <input type="text" value="125.5"/>		
XML 表記例	<面積>125.5</面積>		
備考	なし		
記入規則	少数点以下第一位まで		

(29) 距離

項目名	距離		
データ表現	半角数字	文字数	6
概要	測量延長距離の概数 単位:km		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	測量延長距離（概数）を表す場合に記入		
記入例	距離が“45.5km”であった場合。 距離： <input type="text" value="45.5"/>		
XML 表記例	<距離>45.5</距離>		
備考	なし		
記入規則	少数点以下第一位まで		

(30) 点数

項目名	点数		
データ表現	半角数字	文字数	4
概要	基準点の点数を記入する。（与点の数は除く）		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	基準点の点数を表す場合に記入		
記入例	点数が“24”であった場合。 点数： <input type="text" value="24"/>		
XML 表記例	<点数>24</点数>		
備考	なし		
記入規則	整数入力		

(31) モデル数

項目名	モデル数		
データ表現	半角数字	文字数	4
概 要	空中三角測量における、モデル数を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	モデル数を表す場合に記入		
記入例	モデル数が“30”であった場合。 面積： <input type="text" value="30"/>		
XML 表記例	<モデル数>30</モデル数>		
備 考	なし		
記入規則	整数入力		

4-5 その他

(32) 受注者説明文

項目名	受注者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。		
記入例	省略		
XML 表記例	省略		
備考	なし		
記入規則	なし		

(33) 予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	説明文以外で特記すべき事項がある場合は記入する。		
記入例	省略		
XML 表記例	省略		
備考	なし		
記入規則	複数記入可。		

5 測量成果管理項目の記入方法

5-1 ソフトウェア情報

(1) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数文字	文字数	64
概要	成果管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURV_*.XML の作成及び修正に成果管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須入力。		
記入例	成果管理ファイル作成ソフトウェア名が“ 成果管理ファイル作成簡易システム ”であった場合。 ソフトウェア名： 成果管理ファイル制作簡易システム		
XML 表記例	<ソフトウェア名>成果管理ファイル作成簡易システム </ソフトウェア名>		
備考	なし		
記入規則			

(2) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概要	成果管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURV_*.XML の作成及び修正に成果管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須入力。		
記入例	成果管理ファイル作成ソフトウェアが“ 成果管理ファイル作成簡易システム Ver.1.0 ”であった場合。 バージョン情報： 1.0		
XML 表記例	<バージョン情報>1.0</バージョン情報>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(3) メーカー名

項目名	メーカー名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	成果管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカー名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURV_*.XML の作成及び修正に成果管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須入力。		
記入例	メーカー名が“ 株式会社 ”であった場合。 メーカー名： <input type="text" value="株式会社"/>		
XML 表記例	<メーカー名> 株式会社</メーカー名>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(4) メーカー連絡先

項目名	メーカー連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	成果管理ファイル作成ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	SURV_*.XML の作成及び修正に成果管理ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須入力。		
記入例	メーカー連絡先が“ 県 市 1-1-1 TEL0XX XXX XXXX FAX 0XX XXX XXXX ”であった場合 メーカー連絡先： <input type="text" value="県 市 1-1-1 TEL0XX XXX XXXX"/> <input type="text" value="FAX 0XX XXX XXXX"/>		
XML 表記例	<メーカー連絡先> 県 市 1-1-1 TEL0XX XXX XXXX FAX 0XX XXX XXXX </メーカー連絡先>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(5) ソフトメーカー用 TAG

項目名	ソフトメーカー用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概 要	ソフトウェア情報予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。		
記入例	- 省略 -		
XML 表記例	- 省略 -		
備 考	なし		
記入規則	なし		

5-2 測量成果情報 1

1：格納されている成果の種類（成果表、点の記、精度管理表、...）の数分だけ繰り返し記入する。

(6) 測量区分フォルダ名

項目名	測量区分フォルダ名		
データ表現	半角英数字 大文字	文字数	8
概要	「測量区分」のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量区分が“KITEN”であった場合。 測量区分フォルダ名： <u>KITEN</u>		
XML表記例	<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>		
備考	「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKAI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」の中から選択		
記入規則	なし		

(7) 測量成果区分フォルダ名

項目名	測量成果区分フォルダ名		
データ表現	半角英数字 大文字	文字数	8
概要	測量成果区分(測量記録、成果データ)のフォルダ名を記入する。 (格納サブフォルダ名)		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量成果の区分が成果データである場合 測量成果区分フォルダ名： <u>DATA</u>		
XML表記例	<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>		
備考	「WORK」、又は「DATA」		
記入規則	業務管理ファイル作成ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。空欄不可。		

(8) 測量細区分フォルダ名

項目名	測量細区分フォルダ名		
データ表現	半角英数字 大文字	文字数	8
概要	「表 2 - 2」及び「表 2 - 3」で定義されたフォルダ名を記入する。 (格納サブフォルダ名)		
記入必要度	条件付き必須記入（データが分かる場合は必ず記入する）		
記入が必要な場合	測量地域及び測量の等級・地図情報レベルに応じて成果等を整理する必要がある場合は記入する。		
記入例	測量細区分が基準点測量 A の場合 測量細区分フォルダ名： <u>KTN_A</u>		
XML 表記例	<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	測量細区分の中で、複数の測量成果を区分する場合、***_A、の次は***_B、***_C、と順次フォルダ名を付ける。		

(9) 測量成果名称

項目名	測量成果名称		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	測量成果の名称を記入する。(例：精度管理表、観測手簿等)		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	測量成果の名称が“精度管理表”であった場合。 測量成果名称： <u>精度管理表</u>		
XML 表記例	<測量成果名称>精度管理表</測量成果名称>		
備考	なし		
記入規則	空欄不可		

(10) 測量成果ファイル形式

項目名	測量成果ファイル形式		
データ表現	半角英数字	文字数	12
概要	測量成果ファイルの記録形式を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	<p>例 1：測量成果ファイル形式が“PDF形式”であった場合。 測量成果ファイル形式：<input type="text" value="PDF"/></p> <p>例 2：測量成果ファイル形式が“DM形式”であった場合。 測量成果ファイル形式：<input type="text" value="DM"/></p>		
XML 表記例	<p>例 1： <測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式></p> <p>例 2： <測量成果ファイル形式>DM</測量成果ファイル形式></p>		
備考	オリジナルファイルの拡張子		
記入規則	空欄不可		

(11) 測量成果レコードフォーマット

項目名	測量成果レコードフォーマット		
データ表現	全角文字	文字数	64
概要	測量成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	特に説明を要するものについては必ず記入する。		
記入例	国土交通省公共測量作業規程の DM フォーマットの場合		
XML 表記例	<測量成果レコードフォーマット>国土交通省公共測量作業規程<測量成果レコードフォーマット>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(12) 測量成果作成ソフトウェア情報

1) 測量成果作成ソフトウェア名

項目名	測量成果作成ソフトウェア名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	測量成果ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	測量成果ファイルの作成に、オリジナルファイル形式を採用した場合は必須記入		
記入例	測量成果ファイル(例えば、“点の記数値データ”)作成ソフトウェア名が “Microsoft_Word_98”であった場合。 ソフトウェア名: <u>Microsoft_Word_98</u>		
XML表記例	<ソフトウェア名> Microsoft_Word_98</ソフトウェア名>		
備考	単語間のスペース部分はアンダースコア“_”で結合し、なるべくひと続きの単語としての記入が望ましい。		
記入規則	なし		

2) 測量成果作成ソフトウェアバージョン情報

項目名	測量成果作成ソフトウェアバージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概要	測量成果ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	測量成果ファイルの作成に、オリジナルファイル形式を採用した場合は必須記入		
記入例	測量成果ファイル(例えば、“点の記数値データ”)作成ソフトウェア名が “Microsoft_Word_98”であった場合。 バージョン情報: <u>98</u>		
XML表記例	<バージョン情報>98</バージョン情報>		
備考	なし		
記入規則	なし		

3) 測量成果作成ソフトウェアメーカー名

項目名	測量成果作成ソフトウェアメーカー名		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	ソフトウェアメーカー名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	測量成果ファイルの作成に、オリジナルファイル形式を採用した場合は必須記入		
記入例	メーカー名が " 株式会社 " であった場合。 メーカー名: <input type="text" value="株式会社"/>		
XML 表記例	<メーカー名> 株式会社</メーカー名>		
備考	なし		
記入規則	なし		

4) 測量成果ソフトウェアメーカー連絡先

項目名	測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	REPORT.XML の作成及び修正に測量成果ファイル作成ソフトウェアを使用した場合は必須記入		
記入例	メーカー連絡先が " 県 市 1-1-1 TEL : 0XX XXX XXXX FAX 0XX XXX XXXX " であった場合。 メーカー連絡先 <input type="text" value="県 市 1-1-1 TEL : 0XX XXX XXXX"/> <input type="text" value="FAX 0XX XXX XXXX"/>		
XML 表記例	<メーカー連絡先> 県 市 1-1-1 TEL : 0XX XXX XXXX FAX 0XX XXX XXXX </メーカー連絡先>		
備考	なし		
記入規則	なし		

5) 測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG

項目名	測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概要	ソフトウェア情報予備項目を記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。		
記入例	- 省略 -		
XML 表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則			

(13) 成果ファイル情報 2

2：成果ファイル情報については、成果の数だけ繰り返し記入する。

1) 測量成果ファイル名

項目名	測量成果ファイル名		
データ表現	半角英数字 大文字	文字数	12
概要	測量成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	例えば、該当する測量成果が“精度管理表”で、そのファイル名が ” KJAG1001.PDF ” の場合 測量成果ファイル名： KJAG1001.PDF		
XML 表記例	<測量成果ファイル名>KJAG1001.PD</測量成果ファイル名>		
備考	8.3 形式のファイル名称を記入		
記入規則	空欄不可		

2) 測量成果ファイル名副題

項目名	測量成果ファイル名副題		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	64
概 要	ファイルの内容が分かる程度の副題を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入(データが分かる場合は必ず記入する)		
記入が必要な場合	ファイル名称を説明する文章が必要なとき。		
記入例	測量成果ファイル名副題が “ 地区精度管理表 ” であった場合 測量成果ファイル名副題 : <input type="text" value="地区精度管理表"/>		
XML 表記例	<測量成果ファイル名副題> 地区精度管理表</測量成果ファイル名副題>		
備 考	日本語ファイル名称を記入しても可。		
記入規則	複数記入可。		

5-3 その他

(14) 受注者説明文

項目名	受注者説明文		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	その他予備事項がある場合記入する。		
記入例	省略		
XML 表記例	省略		
備考	なし		
記入規則	複数記入可。		

(15) 予備

項目名	予備		
データ表現	全角文字 半角英数字	文字数	127
概要	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	その他予備事項がある場合記入する。		
記入例	省略		
XML 表記例	省略		
備考	なし		
記入規則	複数記入可。		

付属資料 2 業務管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル (INDEX_D.XML) の DTD (INDE_D02.DTD) を以下に示す。

```
<!-- INDEX_D.DTD / 2001/08-->
```

```
<!ELEMENT gyomudata (基礎情報,ソフトウェア情報?,業務件名等,場所情報?,施設情報?,発注者情報,受注者情報,業務情報,予備*)>
<!ATTLIST gyomudata DTD_version CDATA #FIXED "02">
```

```
<!-- ***** -->
<!-- 基礎情報 -->
<!-- ***** -->
```

```
<!ELEMENT 基礎情報 (メディア番号,メディア総枚数,報告書フォルダ名,報告書オリジナルファイルフォルダ名,図面フォルダ名,写真フォルダ名,測量データフォルダ名,地質データフォルダ名)>
```

```
<!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メディア総枚数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 報告書フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 報告書オリジナルファイルフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量データフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地質データフォルダ名 (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** -->
<!-- ソフトウェア情報 -->
<!-- ***** -->
```

```
<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカー名?,メーカー連絡先?,ソフトメーカー用 TAG?)>
```

```
<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカー名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカー連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** -->
<!--          業務件名等          -->
<!-- ***** -->
```

<!ELEMENT 業務件名等 (TECRIS 登録番号, 設計書コード, 業務名称, 住所コード*, 住所*, 業務対象水系路線等コード*, 業務対象水系路線名*, 履行期間-着手, 履行期間-完了)>

```
<!ELEMENT TECRIS 登録番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 設計書コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 業務名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 住所コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 住所 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 業務対象水系路線等コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 業務対象水系路線名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 履行期間-着手 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 履行期間-完了 (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** -->
<!--          場所情報          -->
<!-- ***** -->
```

<!ELEMENT 場所情報 (起点側測点-n?, 起点側測点-m?, 終点側測点-n?, 終点側測点-m?, 起点側距離標-n?, 起点側距離標-m?, 終点側距離標-n?, 終点側距離標-m?, 西側境界座標経度?, 東側境界座標経度?, 北側境界座標緯度?, 南側境界座標緯度?)>

```
<!ELEMENT 起点側測点-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側測点-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側測点-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側測点-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側距離標-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 起点側距離標-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側距離標-n (#PCDATA)>
<!ELEMENT 終点側距離標-m (#PCDATA)>
<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** -->
<!--          施設情報          -->
<!-- ***** -->
```

<!ELEMENT 施設情報 (施設名称?)>

<!ELEMENT 施設名称 (#PCDATA)>

```
<!-- ***** -->
<!--          発注者情報          -->
<!-- ***** -->
```

<!ELEMENT 発注者情報 (発注者機関コード,発注者機関事務所名)>

```
<!ELEMENT 発注者機関コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者機関事務所名 (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** -->
<!--          受注者情報          -->
<!-- ***** -->
```

<!ELEMENT 受注者情報 (受注者名,受注者コード)>

```
<!ELEMENT 受注者名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 受注者コード (#PCDATA)>
```

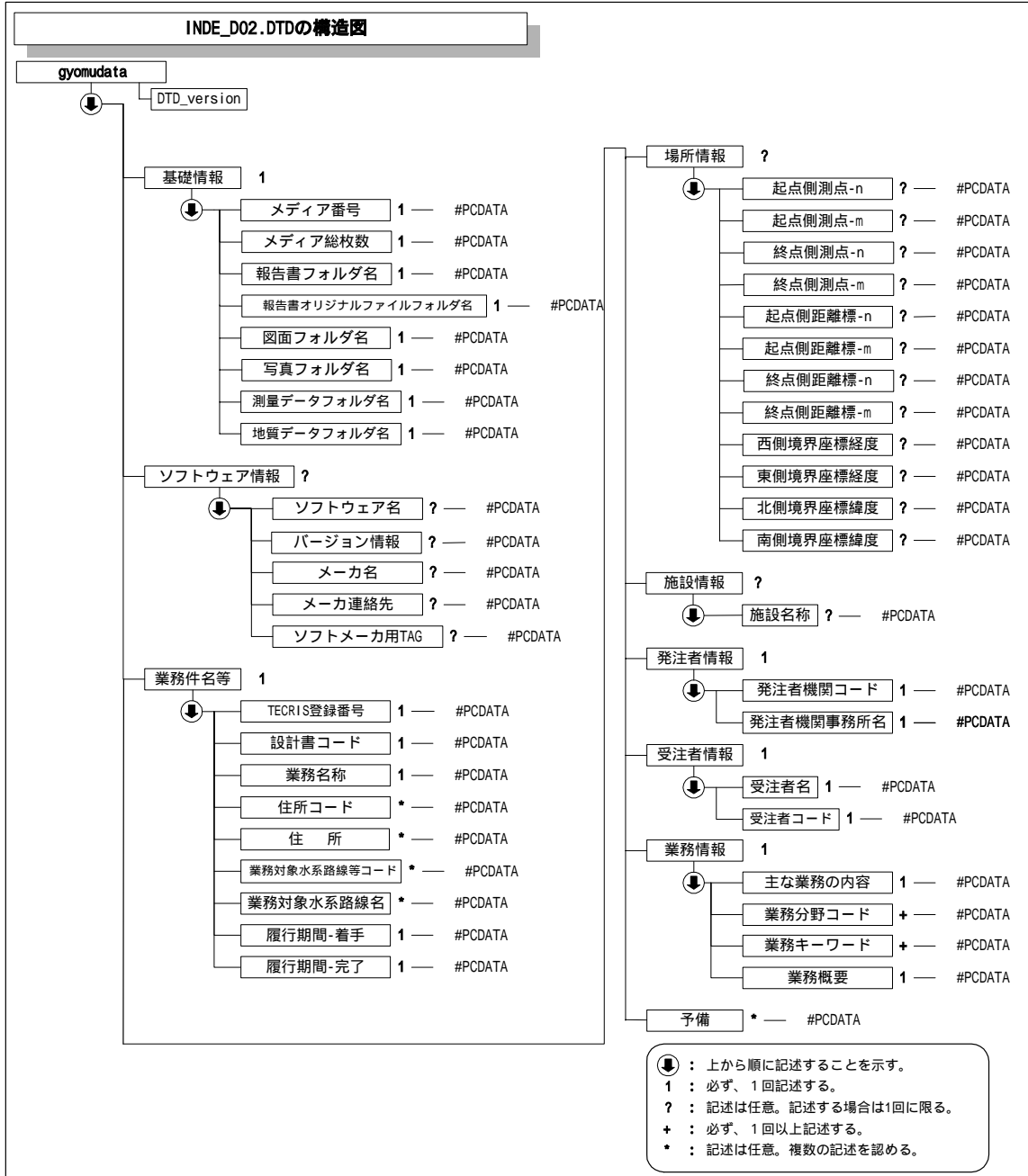
```
<!-- ***** -->
<!--          業務情報          -->
<!-- ***** -->
```

<!ELEMENT 業務情報 (主な業務の内容,業務分野コード+,業務キーワード+,業務概要)>

```
<!ELEMENT 主な業務の内容 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 業務分野コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 業務キーワード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 業務概要 (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** -->
<!--          予備          -->
<!-- ***** -->
```

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>



測量情報管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の DTD(SURVEY01.DTD)を以下に示す。

```
<!--SURVEY01.DTD / 2003/03-->
<!ELEMENT SURVEY (基礎情報,ソフトウェア情報?,場所情報+,測量情報+,その他?)>
<!ATTLIST SURVEY01 DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!-- ***** -->
<!--          基礎情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 基礎情報 (助言番号,製品仕様書名または作業規程名,基準点測量成果格納用フォルダ名,水準測量成果格納用フォルダ名,地形測量成果格納用フォルダ名,路線測量成果格納用フォルダ名,河川測量成果格納用フォルダ名,用地測量成果格納用フォルダ名,ドキュメント格納用フォルダ名)>

<!ELEMENT 助言番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 製品仕様書名または作業規程名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 水準測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地形測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 路線測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 河川測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 用地測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメント格納用フォルダ名 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          ソフトウェア情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?,バージョン情報?,メーカー名?,メーカー連絡先?,ソフトメーカー用 TAG?)>

<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカー名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカー連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          場所情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 場所情報 (測量区域番号,測量区域名?,区域情報?)>

<!ELEMENT 測量区域番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域名 (#PCDATA)>
<!-- ***** -->
```

```

<!--                区域情報                -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 区域情報 (西側境界座標経度?, 東側境界座標経度?, 北側境界座標緯度?, 南側境界座標緯度?, 平面直角座標系?, 西側境界平面直角座標?, 東側境界平面直角座標?, 北側境界平面直角座標?, 南側境界平面直角座標?)>
<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 平面直角座標系 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 西側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--                測量情報                -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 測量情報 (測量区分, 測量細区分, 測量記録フォルダパス名, 測量成果フォルダパス名?, 測量区域 No, 等級精度, 画像種別?, 解像度?, アナログデジタル区分?, 新規修正区分?, 面積?, 距離?, 点数?, モデル数?)>
<!ELEMENT 測量区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量細区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量記録フォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果フォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域 No (#PCDATA)>
<!-- ***** -->
<!--                等級精度                -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 等級精度 (等級?, 地図情報レベル?)>
<!ELEMENT 等級 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地図情報レベル (#PCDATA)>

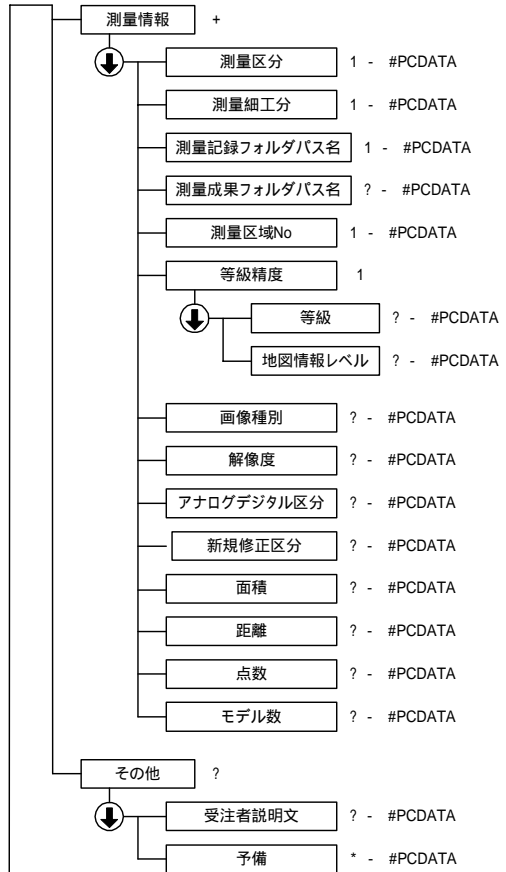
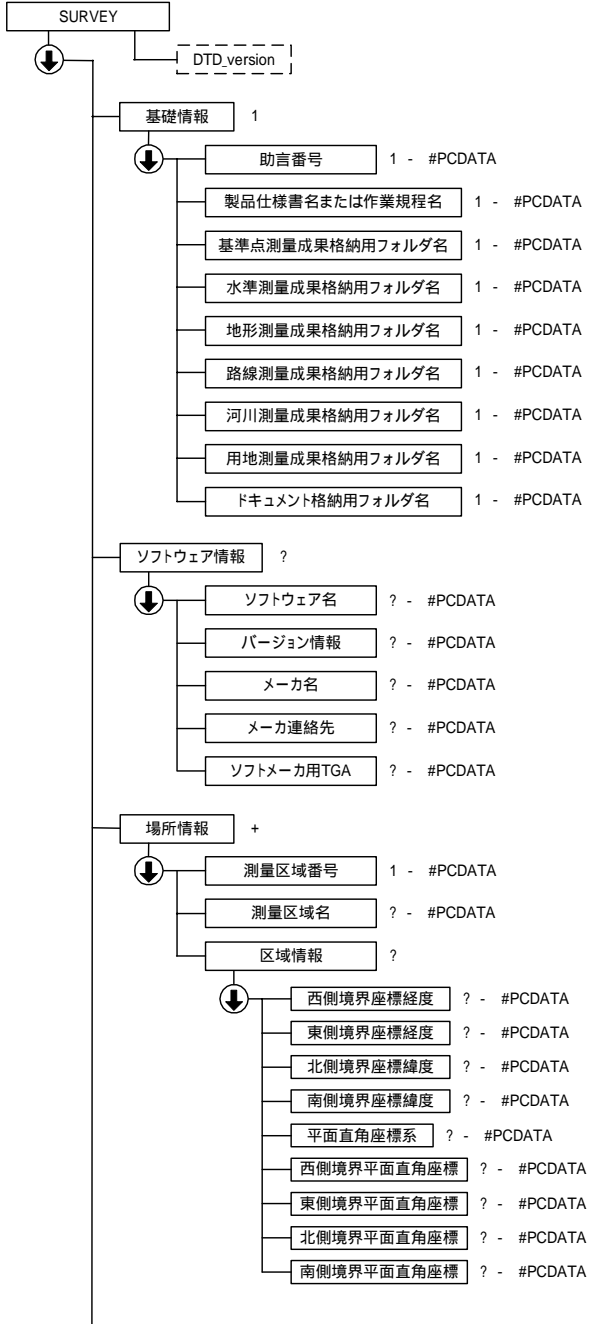
<!ELEMENT 画像種別 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 解像度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT アナログデジタル区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 新規修正区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 面積 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 距離 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 点数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT モデル数 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--                その他                -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

```

SURVEY01.DTDの構造図



↓: 上から順に記述することを示す。
 1: 必ず、1回記述する。
 ?: 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 +: 必ず、1回以上記述する。
 *: 記述は任意。複数の記述を認める。

測量成果管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に格納する測量成果管理ファイル（基準点測量：SURV_KTN.XML、水準測量：SURV_SJN.XML、地形測量：SURV_CHI.XML、路線測量：SURV_RSN.XML、河川測量：SURV_KSN.XML、用地測量：SURV_YCH.XML）の DTD（SURV_D01.DTD）を以下に示す。

```
<!-- SURV_D01.DTD / 2003/03-->
<!ELEMENT SURV_DATA (ソフトウェア情報?, 測量成果情報+, その他?)>
<!ATTLIST SURV_DATA DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!-- ***** -->
<!--          ソフトウェア情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT ソフトウェア情報 (ソフトウェア名?, バージョン情報?, メーカー名?, メーカー連絡先?,
ソフトウェア用 TAG?)>

<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカー名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカー連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          測量成果情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 測量成果情報 (測量区分フォルダ名, 測量成果区分フォルダ名, 測量細区分フォルダ
名?, 測量成果名称, 測量成果ファイル形式?, 測量成果レコードフォーマット?, 測量成果作成ソフト
ウェア情報?, 成果ファイル情報+)>

<!ELEMENT 測量区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量細区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果ファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果レコードフォーマット (#PCDATA)>

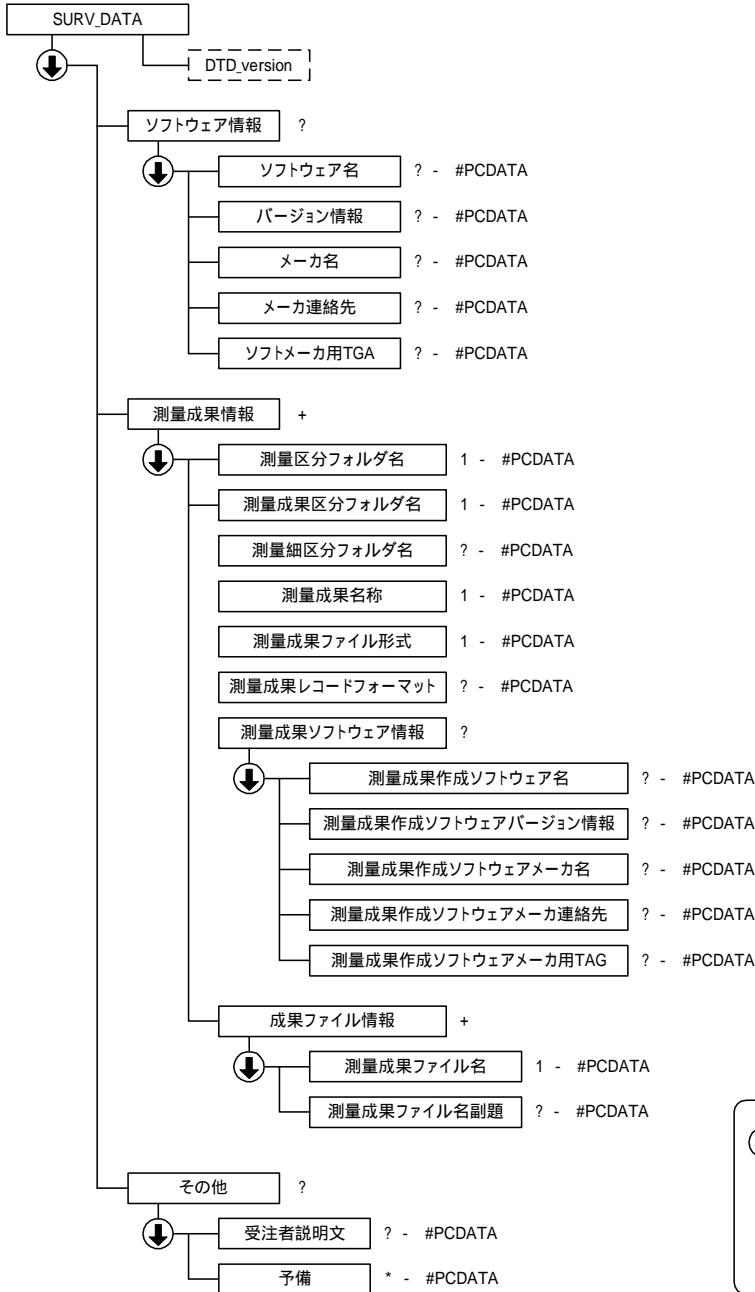
<!-- ***** -->
<!--          測量成果作成ソフトウェア情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 測量成果作成ソフトウェア情報 (測量成果作成ソフトウェア名?, 測量成果作成ソフト
ウェアバージョン情報?, 測量成果作成ソフトウェアメーカー名?, 測量成果作成ソフトウェアメー
カ連絡先?, 測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG?)>
<!ELEMENT 測量成果作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果作成ソフトウェアバージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果作成ソフトウェアメーカー名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** -->
<!--          成果ファイル情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 成果ファイル情報 (測量成果ファイル名+,測量成果ファイル名副題?)>
<!ELEMENT 測量成果ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果ファイル名副題 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
```

SURV_D01.DTDの構造図



↓ : 上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意。複数の記述を認める。

付属資料 3 業務管理ファイルのXML 記入例

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル (INDEX_D.XML) の入力例と出力例を以下に示す。

1 入力例

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者
基礎情報	メディア番号	1	
	メディア総枚数	1	
	報告書フォルダ名	REPORT	
	報告書オリジナル ファイルフォルダ名	REPORT/ORG	
	図面フォルダ名	DRAWING	
	写真フォルダ名	PHOTO	
	測量データフォルダ名	SURVEY	
	地質データフォルダ名	BORING	
ソフトウェア 情報	ソフトウェア名	業務管理ファイル作成簡易システム	
	バージョン情報	1.0	
	メーカー名	株式会社	
	メーカー連絡先	県 市 1-1-1TEL: 0XX-XXX-XXXXFAX: 0XX-XXX-XXXX	
	ソフトメーカー用 TAG		
業務件名等	TECRIS 登録番号	3000041690	
	設計書コード	835070058	
	業務名称	川流域総合治水計画業務	
	住所コード	12204	
	住所	県 市 × × 町 丁目 番地	
	業務対象水系路線等コード	19303	
	業務対象水系路線名	川	
	履行期間-着手	1998-10-01	
	履行期間-完了	1999-03-25	
場所情報	起点側測点-n	0015	
	起点側測点-m	008	
	終点側測点-n	0018	
	終点側測点-m	005	
	起点側距離標-n	031	

	起点側距離標-m	045	
	終点側距離標-n	036	
	終点側距離標-m	067	
	西側境界座標経度	1383730	
	東側境界座標経度	1384500	
	北側境界座標緯度	0352500	
	南側境界座標緯度	0352000	
施設情報	施設名称	橋	
発注者情報	発注者機関コード	10102123	
	発注者機関事務所名	国土交通省 地方整備局 工事事務所	
受注者情報	受注者名	測量株式会社	
	受注者コード	00000123	
業務情報	主な業務の内容	3	
	業務分野コード	3723020	
	業務キーワード	河川計画、河川環境、オープンスペース	
	業務概要	本業務は、川を対象として、都市化の進む市の貴重なオープンスペースとしての役割を重視した流域総合治水計画を立案するため、基準点測量、及び地形測量により河川流域の地形図を作成した。	
予備			

【記入者】

- : TECRIS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目
(TECRIS 情報の記入に当たっては、TECRIS の規則に従うこと)
- : 電子媒体作成者が記入する項目
- : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

2 出力例

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE gyomodata SYSTEM "INDE_D02.DTD">
<gyomodata DTD_version="02">
<基礎情報>
<メディア番号>1</メディア番号>
<メディア総枚数>1</メディア総枚数>
<報告書フォルダ名>REPORT</報告書フォルダ名>
<報告書オリジナルファイルフォルダ名>REPORT/ORG</報告書オリジナルファイルフォルダ名>
<図面フォルダ名>DRAWING</図面フォルダ名>
<写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
<測量データフォルダ名>SURVEY</測量データフォルダ名>
<地質データフォルダ名>BORING</地質データフォルダ名>
</基礎情報>
<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>業務管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカー名> 株式会社</メーカー名>
<メーカー連絡先> 県 市 1-1-1TEL : 0XX-XXX-XXXXFAX : 0XX-XXX-XXXX </メーカー連絡先>
</ソフトウェア情報>
<業務件名等>
<TECRIS 登録番号>3000041690</TECRIS 登録番号>
<設計書コード>835070058</設計書コード>
<業務名称> 川流域総合治水計画業務</業務名称>
<住所コード>12204</住所コード>
<住所> 県 市 x x 町 丁目 番地</住所>
<業務対象水系路線等コード>19303</業務対象水系路線等コード>
<業務対象水系路線名> 川</業務対象水系路線名>
<履行期間-着手>1998-10-01</履行期間-着手>
<履行期間-完了>1999-03-25</履行期間-完了>
</業務件名等>
<場所情報>
<起点側測点-n>0015</起点側測点-n>
<起点側測点-m>008</起点側測点-m>
<終点側測点-n>0018</終点側測点-n>
<終点側測点-m>005</終点側測点-m>
<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>
<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>
<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>
<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
<西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>
<東側境界座標経度>1384500</東側境界座標経度>
<北側境界座標緯度>0352500</北側境界座標緯度>
<南側境界座標緯度>0352000</南側境界座標緯度>
</場所情報>
<施設情報>
<施設名称> 橋</施設名称>
</施設情報>
<発注者情報>
<発注者機関コード>10102123</発注者機関コード>
<発注者機関事務所名>国土交通省 地方整備局 工事事務所</発注者機関事務所名>
</発注者情報>
<受注者情報>

```

```
<受注者名> 測量株式会社</受注者名>
<受注者コード>00000123</受注者コード>
</受注者情報>
<業務情報>
<主な業務の内容>3</主な業務の内容>
<業務分野コード>3723020</業務分野コード>
<業務キーワード>河川計画</業務キーワード>
<業務キーワード>河川環境</業務キーワード>
<業務キーワード>オープンスペース</業務キーワード>
<業務概要>本業務は、 川を対象として、都市化の進む 市の貴重なオープンスペースとし
ての役割を重視した流域総合治水計画を立案するため、基準点測量、及び地形測量により河川流
域の地形図を作成した。</業務概要>
</業務情報>
<予備>
</予備>
</gyomodata>
```

測量情報管理ファイルのXML 記入例

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル（SURVEY.XML）の入力例と出力例を以下に示す。

1 入力例

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者	
基礎情報	助言番号	H13C0052		
	製品仕様書名または作業規程名	国土交通省公共測量作業規程(平成 14 年度 4 月 1 日)		
	基準点測量成果格納用フォルダ名	KITEN		
	水準測量成果格納用フォルダ名	SUIJUN		
	地形測量成果格納用フォルダ名	CHIKAI		
	路線測量成果格納用フォルダ名	ROSEN		
	河川測量成果格納用フォルダ名	KASEN		
	用地測量成果格納用フォルダ名	YOUCHI		
	ドキュメント格納用フォルダ名	DOC		
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	業務管理ファイル作成簡易システム		
	バージョン情報	1.0		
	メーカー名	株式会社		
	メーカー連絡先	県 市 1-1-1TEL : 0XX-XXX-XXXXFAX : 0XX-XXX-XXXX		
	ソフトメーカー用 TAG			
場所情報	測量区域番号	1		
	測量区域名	地区		
	区域情報	西側境界座標経度		
		東側境界座標経度		
		北側境界座標緯度		
		南側境界座標緯度		
		平面直角座標系	9	
	西側境界平面直角座標	-60000.00		
	東側境界平面直角座標	-40000.00		
北側境界平面直角座標	-28500.00			
南側境界平面直角座標	-39000.00			
場所情報	測量区域番号	2		
	測量区域名	地区		
	区域情報	西側境界座標経度		
		東側境界座標経度		
		北側境界座標緯度		
		南側境界座標緯度		
平面直角座標系	9			

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者	
	西側境界平面直角座標	-40000.00		
	東側境界平面直角座標	-20000.00		
	北側境界平面直角座標	-28500.00		
	南側境界平面直角座標	-39000.00		
測量情報	測量区分	基準点測量		
	測量細区分	基準点測量 A		
	測量記録フォルダパス名	SURVEY/KITEN/WORK/KTN_A		
	測量成果フォルダパス名	SURVEY/KITEN/DATA/KTN_A		
	測量区域番号	1		
	等級精度	等級	22	
		地図情報レベル		
	画像種別			
	解像度			
	アナログデジタル区分	1		
	新規修正区分	1		
	面積	25.0		
	距離			
	点数	12		
モデル数				
測量情報	測量区分	基準点測量		
	測量細区分	基準点測量 B		
	測量記録フォルダパス名	SURVEY/KITEN/WORK/KTN_B		
	測量成果フォルダパス名	SURVEY/KITEN/DATA/KTN_B		
	測量区域番号	2		
	等級精度	等級	23	
		地図情報レベル		
	画像種別			
	解像度			
	アナログデジタル区分	1		
	新規修正区分	1		
	面積	50.3		
	距離			
	点数	24		
モデル数				
測量情報	測量区分	水準測量		
	測量細区分	水準測量		
	測量記録フォルダパス名	SURVEY/SUIJUN/WORK/SJN_A		
	測量成果フォルダパス名	SURVEY/SUIJUN/DATA/SJN_A		
	測量区域番号	1		
	等級精度	等級	22	
地図情報レベル				

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者	
	画像種別			
	解像度			
	アナログデジタル区分	1		
	新規修正区分	1		
	面積	25.0		
	距離			
	点数			
	モデル数			
測量情報	測量区分	地形測量		
	測量細区分	撮影 A		
	測量記録フォルダパス名	SURVEY/CHIKEI/WORK/SATU_A		
	測量成果フォルダパス名			
	測量区域番号	2		
	等級精度	等級		
		地図情報レベル	2500	
	画像種別	1		
	解像度			
	アナログデジタル区分	1		
	新規修正区分	1		
	面積	50.3		
	距離			
	点数			
モデル数				
測量情報	測量区分	地形測量		
	測量細区分	空中写真測量 A		
	測量記録フォルダパス名	SURVEY/CHIKEI/WORK/KUSAN_A		
	測量成果フォルダパス名			
	測量区域番号	2		
	等級精度	等級		
		地図情報レベル	2500	
	画像種別	1		
	解像度			
	アナログデジタル区分	1		
	新規修正区分	1		
	面積	50.3		
	距離			
	点数			
モデル数	3			
測量情報	測量区分	地形測量		
	測量細区分	図化 A		
	測量記録フォルダパス名	SURVEY/CHIKEI/WORK/ZUKA_A		

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者	
	測量成果フォルダパス名	SURVEY/CHIKAI/DATA/ZUKA_A		
	測量区域番号	2		
	等級精度	等級		
		地図情報レベル	2500	
	画像種別	1		
	解像度			
	アナログデジタル区分	1		
	新規修正区分	1		
	面積	50.3		
	距離			
	点数			
	モデル数			
	測量情報	測量区分	地形測量	
測量細区分		地図編集 A		
測量記録フォルダパス名		SURVEY/CHIKAI/WORK/ZUHEN_A		
測量成果フォルダパス名		SURVEY/CHIKAI/DATA/ZUHEN_A		
測量区域番号		2		
等級精度		等級		
		地図情報レベル	2500	
画像種別		1		
解像度				
アナログデジタル区分		1		
新規修正区分		1		
面積		50.3		
距離				
点数				
モデル数				
その他	受注者説明文			
	予備			

【記入者】

- ：電子媒体作成者が記入する項目
 - ：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- (この例では、必須記入項目と条件付き必須項目にデータを入力した)

2 出力例

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURVEY SYSTEM "SURVEY01.DTD">
<SURVEY01 DTD_version="01">
<基礎情報>
<助言番号>H13C0052</助言番号>
<製品仕様書名または作業規程名>国土交通省公共測量作業規程</製品仕様書名または作業規程名>
<基準点測量成果格納用フォルダ名>KITEN</基準点測量成果格納用フォルダ名>
<水準測量成果格納用フォルダ名>SUIJUN</水準測量成果格納用フォルダ名>
<地形測量成果格納用フォルダ名>CHIKEI</地形測量成果格納用フォルダ名>
<路線測量成果格納用フォルダ名>ROSEN</路線測量成果格納用フォルダ名>
<河川測量成果格納用フォルダ名>KASEN</河川測量成果格納用フォルダ名>
<用地測量成果格納用フォルダ名>YOUCHI</用地測量成果格納用フォルダ名>
<ドキュメント格納用フォルダ名>DOC</ドキュメント格納用フォルダ名>
</基礎情報>
<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>業務管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカー名> 株式会社</メーカー名>
<メーカー連絡先> 県 市 1-1-1TEL : 0XX-XXX-XXXXFAX : 0XX-XXX-XXXX</メーカー連絡先>
</ソフトウェア情報>
<場所情報>
<測量区域番号>1</測量区域番号>
<測量区域名> 地区</測量区域名>
<区域情報>
<平面直角座標系>9</平面直角座標系>
<西側境界平面直角座標>-60000.00</西側境界平面直角座標>
<東側境界平面直角座標>-40000.00</東側境界平面直角座標>
<北側境界平面直角座標>-28500.00</北側境界平面直角座標>
<南側境界平面直角座標>-39000.00</南側境界平面直角座標>
</区域情報>
</場所情報>
<場所情報>
<測量区域番号>2</測量区域番号>
<測量区域名> 地区</測量区域名>
<区域情報>
<平面直角座標系>9</平面直角座標系>
<西側境界平面直角座標>-40000.00</西側境界平面直角座標>
<東側境界平面直角座標>-20000.00</東側境界平面直角座標>
<北側境界平面直角座標>-28500.00</北側境界平面直角座標>
<南側境界平面直角座標>-39000.00</南側境界平面直角座標>
</区域情報>
</場所情報>
<測量情報>
<測量区分>基準点測量</測量区分>
<測量細区分>基準点測量 A</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/KITEN/WORK/KTN_A</測量記録フォルダパス名>
<測量成果フォルダパス名>SURVEY/KITEN/DATA/KTN_A</測量成果フォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<等級精度>
<等級>22</等級>
</等級精度>
<アナログデジタル区分>1</アナログデジタル区分>

```

<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>25.0</面積>
<点数>12</点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>基準点測量</測量区分>
<測量細区分>基準点測量 B</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/KITEN/WORK/KTN_B</測量記録フォルダパス名>
<測量成果フォルダパス名>SURVEY/KITEN/DATA/KTN_B</測量成果フォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<等級>23</等級>
<地図情報レベル></地図情報レベル>
</等級精度>
<アナログデジタル区分>1</アナログデジタル区分>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
<点数>24</点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>水準測量</測量区分>
<測量細区分>水準測量</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/SUIJUN/WORK/SJN_A</測量記録フォルダパス名>
<測量成果フォルダパス名>SURVEY/SUIJUN/DATA/SJN_A</測量成果フォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<等級精度>
<等級>22</等級>
<地図情報レベル></地図情報レベル>
</等級精度>
<アナログデジタル区分>1</アナログデジタル区分>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>25.0</面積>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>地形測量</測量区分>
<測量細区分>撮影 A</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/WORK/SATU_A</測量記録フォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>
<アナログデジタル区分>1</アナログデジタル区分>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>地形測量</測量区分>
<測量細区分>空中写真測量 A</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/WORK/KUSAN_A</測量記録フォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>

```
<アナログデジタル区分>1</アナログデジタル区分>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
<モデル数>3</モデル数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>地形測量</測量区分>
<測量細区分>図化 A</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/WORK/ZUKA_A</測量記録フォルダパス名>
<測量成果フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/DATA</測量成果フォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>
<アナログデジタル区分>1</アナログデジタル区分>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>地形測量</測量区分>
<測量細区分>地図編集 A</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/WORK/ZUHEN_A</測量記録フォルダパス名>
<測量成果フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/DATA</測量成果フォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>
<アナログデジタル区分>1</アナログデジタル区分>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
</測量情報>
</SURVEY>
```

測量成果管理ファイルのXML 記入例

成果品の電子媒体に格納する測量成果管理ファイル（基準点測量：SURV_KJN.XML）の入力例と出力例を以下に示す（水準測量、地形測量、路線測量、河川測量、用地測量の場合も同様）。

1 入力例

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者	
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	業務管理ファイル作成簡易システム		
	バージョン情報	1.0		
	メーカー名	株式会社		
	メーカー連絡先	県 市 1-1-1TEL：0XX-XXX-XXXXFAX： 0XX-XXX-XXXX		
	ソフトメーカー用 TAG			
測量成果情報	測量区分フォルダ名	KITEN		
	測量成果区分フォルダ名	WORK		
	測量細区分フォルダ名	KTN_A		
	測量成果名称	観測手簿		
	測量成果ファイル形式	PDF		
	測量成果レコードフォーマット			
	測量成果作成ソフトウェア情報	測量成果作成ソフトウェア名	ADOBE ACROBAT	
		測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	5.0	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー名	ADOBE 社	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先		
測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG				
成果ファイル情報	測量成果ファイル名	KJAD1001.PDF		
	測量成果ファイル名副題			
測量成果情報	測量区分フォルダ名	KITEN		
	測量成果区分フォルダ名	WORK		
	測量細区分フォルダ名	KTN_A		
	測量成果名称	観測手簿数値データ		
	測量成果ファイル形式	TXT		
	測量成果レコードフォーマット	カンマ区切りのTXT 形式		

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者	
	測量成果作成ソフトウェア名	測量成果作成ソフトウェア名	NOTEPAD	
		測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	98	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー名	Microsoft	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG		
	イ 成 ル 果 情 果 報 ファ	測量成果ファイル名	KJAD2001.TXT	
		測量成果ファイル名副題	観測手簿数値データ	
測量成果情報	測量区分フォルダ名	KITEN		
	測量成果区分フォルダ名	WORK		
	測量細区分フォルダ名	KTN_A		
	測量成果名称	観測記簿		
	測量成果ファイル形式	PDF		
	測量成果レコードフォーマット			
	測量成果作成ソフトウェア名	測量成果作成ソフトウェア名	ADOBE ACROBAT	
		測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	5.0	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー名	ADOBE 社	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG		
	イ 成 ル 果 情 果 報 ファ	測量成果ファイル名	KJAD3001.PDF	
		測量成果ファイル名副題	観測記簿	
	測量成果情報	測量区分フォルダ名	KITEN	
測量成果区分フォルダ名		WORK		
測量細区分フォルダ名		KTN_A		
測量成果名称		精度管理表		
測量成果ファイル形式		PDF		
測量成果レコードフォーマット				
フ 測 ト 量 ウ 成 エ 果 ア 作 名 成 ソ		測量成果作成ソフトウェア名	ADOBE ACROBAT	
	測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	5.0		
	測量成果作成ソフトウェアメーカー名	ADOBE 社		

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG		
	ル 成 情 果 報 ファ イ	測量成果ファイル名	KJAG1001.PDF	
		測量成果ファイル名副題		
測量成果情報	測量区分フォルダ名	KITEN		
	測量成果区分フォルダ名	DATA		
	測量細区分フォルダ名	KTN_A		
	測量成果名称	成果表		
	測量成果ファイル形式	PDF		
	測量成果レコードフォーマット			
	測 量 成 果 作 成 ソ フ ト ウ ェ ア 名	測量成果作成ソフトウェア名	ADOBE ACROBAT	
		測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	5.0	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー名	ADOBE 社	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG		
	イ 成 ル 果 情 ファ 報	測量成果ファイル名	KJAA1001.PDF	
		測量成果ファイル名副題	1 級基準点 No.201	
	イ 成 ル 果 情 ファ 報	測量成果ファイル名	KJAA1002.PDF	
		測量成果ファイル名副題	1 級基準点 No.202	
	イ 成 ル 果 情 ファ 報	測量成果ファイル名	KJAA1003.PDF	
		測量成果ファイル名副題	1 級基準点 No.203	
	イ 成 ル 果 情 ファ 報	測量成果ファイル名	KJAA1004.PDF	
		測量成果ファイル名副題	1 級基準点 No.204	
	測量成果情報	測量区分フォルダ名	KITEN	
測量成果区分フォルダ名		DATA		
測量細区分フォルダ名		KTN_A		
測量成果名称		成果表データ		
測量成果ファイル形式		TXT		

カテゴリー	項目名	入力したデータ	記入者
	測量成果レコードフォーマット	カンマ区切りのTXT形式	
	測量成果作成ソフトウェア名	測量成果作成ソフトウェア名	NOTEPAD
		測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	98
		測量成果作成ソフトウェアメーカー名	Microsoft 社
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先	
		測量成果作成ソフトウェアメーカー用TAG	
	成果ファイル情報	測量成果ファイル名	KJAA2001.TXT
		測量成果ファイル名副題	1級基準点成果表数値データ
その他	受注者説明文		
	予備		

【記入者】

- ：電子媒体作成者が記入する項目
 - ：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- (この例では、必須記入項目と条件付き必須項目にデータを入力した)

2 出力例

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURV_DATA SYSTEM "SURV_D01.DTD">
<SURV_DATA DTD_version="01">
<ソフトウェア情報>
<ソフトウェア名>業務管理ファイル作成簡易システム</ソフトウェア名>
<バージョン情報>1.0</バージョン情報>
<メーカー名> 株式会社</メーカー名>
<メーカー連絡先> 県 市 1-1-1TEL : 0XX-XXX-XXXXFAX : 0XX-XXX-XXXX </メーカー連絡先>
</ソフトウェア情報>
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>観測手簿</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア情報>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT</測量成果作成ソフトウェア名>
<測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>5.0</測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>
<測量成果作成ソフトウェアメーカー名>ADOBE 社</測量成果作成ソフトウェアメーカー名>
</測量成果作成ソフトウェア情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAD1001.PDF</測量成果ファイル名>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>観測手簿数値データ</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>TXT</測量成果ファイル形式>
<測量成果レコードフォーマット>カンマ区切りのTXT形式</測量成果レコードフォーマット>
<測量成果作成ソフトウェア情報>
<測量成果作成ソフトウェア名>NOTEPAD</測量成果作成ソフトウェア名>
<測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>98</測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>
<測量成果作成ソフトウェアメーカー名>Microsoft</測量成果作成ソフトウェアメーカー名>
</測量成果作成ソフトウェア情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAD2001.TXT</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>観測手簿数値データ</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>観測記簿</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア情報>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT</測量成果作成ソフトウェア名>
<測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>5.0</測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>
<測量成果作成ソフトウェアメーカー名>ADOBE 社</測量成果作成ソフトウェアメーカー名>
    
```

```
</測量成果作成ソフトウェア情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAD3001.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>観測記簿</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>精度管理表</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア情報>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT</測量成果作成ソフトウェア名>
<測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>5.0</測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>
<測量成果作成ソフトウェアメーカー名>ADOBE 社</測量成果作成ソフトウェアメーカー名>
</測量成果作成ソフトウェア情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAG1001.PDF</測量成果ファイル名>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>成果表</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア情報>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT</測量成果作成ソフトウェア名>
<測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>5.0</測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>
<測量成果作成ソフトウェアメーカー名>ADOBE 社</測量成果作成ソフトウェアメーカー名>
</測量成果作成ソフトウェア情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1001.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.201</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1002.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.202</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1003.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.203</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1004.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.204</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>成果表数値データ</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>TXT</測量成果ファイル形式>
```

<測量成果レコードフォーマット>カンマ区切りのTXT形式</測量成果レコードフォーマット>
<測量成果作成ソフトウェア情報>
<測量成果作成ソフトウェア名>NOTEPAD</測量成果作成ソフトウェア名>
<測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>98</測量成果作成ソフトウェアバージョン情報>
<測量成果作成ソフトウェアメーカー名>Microsoft 社</測量成果作成ソフトウェアメーカー名>
</測量成果作成ソフトウェア情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA2001.TXT</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1級基準点成果表数値データ</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
<その他>
<受注者説明文></受注者説明文>
<予備></予備>
</その他>
</SURV_DATA>

付属資料 4 TECRIS の使用文字規則

XML 文書作成の際に、TECRIS 情報に関する項目の入力は TECRIS の使用文字規則に準拠することを基本とする。

TECRIS の使用文字規則を以下に示す。

文字入力文字には、半角の英数字と全角の日本語が入力できます。

日本語を入力する項目では、かな漢字変換が自動的に起動しますので、文字を全角で入力して下さい。起動しないところは半角で入力して下さい。また、JIS 第 1 水準・第 2 水準の文字のみ用いて、外字は使用しないで下さい。

入力システムで使用できる記号等、使用できない記号等を下記の表（特殊記号一覧表）に示します。

なお、「 ” ・ 「 ’ 」(ダブルクォート)は JIS 規格内ですが、使用しないで下さい。カタカナは必ず全角で入力して下さい。

表 1 TECRIS 特殊記号一覧

使用できる記号等	JIS 規格	記述記号	、 。 , . • ; : ? ! * ° / \ " ^ _ \ > < " 全 々 / ○ / \ ~ ... ' ' () [] [] { } 《 》 「 」 『 』 【 】
		学術記号	+ - ± × ÷ = < >
		単位記号	° ¥ \$ ¢ £ %
		一般記号	# & * @ § 〒 =
		単 位	【長 さ】mm,cm, m, km 【面 積】mm ² , cm ² , m ² , km ² , a, ha 【容 積】cm ³ , m ³ , cc, ml, l, kl 【重 さ】ug, mg, g, kg, t 【時 間】sec, min, hr 【その他】kW, kWh, ps, u, v cm、m ² 、km、kg、cc、μ、%等の単位記号は、使用しないで下さい。
使用できない記号等	JIS 規格内	“ ”	
	規格以外 JIS	略 号	(株)、(有)、(代)
		そ の 他	、 ~ 、 ~

付属資料 5 TECRIS コード表

(1) 測量（公共測量）業務分野 TECRIS コード

TECRIS コード	測量分野
3722010	基準点測量
3722020	水準測量
3722990	その他の基準点測量
3723010	都市計画図作成
3723020	地形図作成
3723030	写真図
3723040	空中写真撮影(白黒)
3723040	空中写真撮影(カラー)
3723050	空中三角測量
3723060	写測修正
3723070	平板測量
3723080	TS 地形測量
3723990	その他の地形測量
3724010	デジタルマッピング
3724020	既成図数値化
3724030	数値地形図修正
3724990	その他の数値地形測量
3725010	地図編集
3725020	地図製図
3725990	その他の地図調整
3726010	路線測量
3726020	河川測量
3726030	用地測量
3726040	深浅・汀線測量
3726050	縦横断測量
3726990	その他の応用測量
3727000	研究
3728000	記録・広報
3728010	成果改定
3729000	その他

ゴシック文字は TECRIS コード表に今後登録する必要のある項目であり、本表は、当面間、測量成果の電子納品にのみ適用のこととする。

左表の TECRIS コードは、「TECRIS コード一覧表」の部門コード（2桁）詳細部門コード（1桁：公共測量は2）業務段階コード（1桁）及び業務内容コード（2桁）に、業務対象コード（1桁：定義なしは0）を加えたものである。

(2) 業務キーワード (測量目的)

業務キーワードは複数入力が可能である。最初に、測量目的に該当する業務キーワードとして表の中から該当する名称を記入する。

区分	業務名称	TECRIS コード	区分	業務名称	TECRIS コード
都市	都市計画	3293	鉱工業	地質調査	2997
	宅地開発	8643		電源開発	
	土地区画整理	4482		その他の鉱工業業務	
	下水道計画	4358	交通	鉄道計画	3210
	下水道台帳作成	1322		港湾計画	4417
	その他の都市業務			空港計画・調査	14167
河川 海岸 砂防	河川計画	1191	環境	その他の交通業務	
	河川管理	1190		地盤沈下	3023
	ダム計画	520		環境調査	1343
	砂防計画	1975		地すべり対策	2940
	海岸保全	1253	その他の環境業務		
	その他の河川海岸砂防業務		研究	文化財	3715
道路	道路計画	3387		その他の研究業務	
	道路台帳	9489	その他	郵便地図調査	
	その他の道路業務			地籍調査	8915
農林 水産	土地改良事業	17319		総合計画	
	ほ場整備			その他業務	
	農地開発				
	森林計画				
	農道台帳				
その他の農林水産業務					

ゴシック文字は TECRIS コード表に今後登録する必要のある項目であり、本表は、当面間、測量成果の電子納品にのみ適用のこととする。

付属資料 6 XML 文書作成における留意点

XML 文書の作成にあたっての留意点を以下に示す。

- (1) XML 文書における文字セットは、「8-2 使用文字」によるものとする。
- (2) XML 文書の文字符号化方式は、XML 文書の標準符号化方式である Unicode 形式の UTF-16、または UTF-8 を基本とすべきであるが、コンピュータシステムの現状を鑑み、当面は Shift_JIS とする。
- (3) 提出する XML 文書には、DTD を埋め込む方式をとらず、外部ファイル参照方式を採用する。
- (4) XML の予約文字 (JIS X 0201 (ラテン文字用図形文字) の不等号 (より小) (<)、不等号 (より大) (>)、アンパサンド (&)、アポストロフィー (')、引用符 (")) については、実体参照を用いることで使用することができる。以下に実体参照を示す。

表 1 実体参照

記号	実体参照
“	"
&	&
‘	'
<	<
>	>

- (5) XML 文書の作成は、「標準情報(TR)TR X 0008:1999 拡張可能なマーク付け言語 (XML) 1.0」、「標準情報(TR)TR X 0015:1999XML 日本語プロファイル」を参照すること。

付属資料 7

成果表出力フォーマット

1. 成果表出力フォーマット基本構造

- 1) 成果表出力フォーマットは、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 2) 文字コードは、ASCIIコード、漢字コードは、シフトJISコードとする。
- 3) 成果表出力フォーマットのファイルは、拡張子を“TXT”とする。
- 4) レコードの記述方法

デ - タ区分	区切り	項目 1	区切り	・ ・ ・ ・	項目 n	区切り	CRLF
---------	-----	------	-----	---------	------	-----	------

データ区分

- ・ その行のデータの種類を表す記号。この情報は省略できない。
- ・ 1文字目が英字で2、3文字目が数字の3文字とする。

区切り

- ・ 各データの項目は、","(カンマ)によって区切るものとする。
- ・ 項目を省略する場合は、",,"とする。

項目 1 ~ 項目 n

- ・ データ区分に応じて項目数は変わり、次ページ以降の記載通りとする。

CRLF

- ・ 各行の終了コード(0D0Ah)で、各行の最大長は、CRLFを含まず、128バイトとする。

成果表出力フォーマット注意事項

- 1) 名称・コメントなど、文字として認識するデータには、“,”(カンマ)を使用しないこととする。
- 2) 名称、コメント以外のデータは、半角文字とする。

2. 基準点測量成果表フォーマット

1) コメントデータ (コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可

2) タイトルデータ (業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 測地系データ (測地系を示すデ - タ)

Z02 , 測地系 , 座標系 , CRLF

Z02	測地系を示すデ - タ区分。	省略不可
測地系	0 : 世界測地系、1 : 日本測地系	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略可

4) 座標出力開始データ (座標デ - タの出力開始を示すデ - タ)

A00 , CRLF

A00	座標デ - タの出力開始を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	-------------------------	------

5) 座標データ (点の座標を示すデ - タ)

A01 , 点番号 , 点名称 , 緯度 , 経度 , X座標 , Y座標 , 座標系 , 標高 , ジオイド高 , CRLF

A01	座標デ - タを示すデ - タ区分。	省略不可
点番号	5 桁の整数とする。	省略不可
点名称	40 バイト以下	省略不可
緯度 , 経度	緯度は、小数点形式 (DD° . MM SS SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 経度は、小数点形式 (DDD° . MM SS SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 X , Y 座標の記載がある場合は省略可。	省略可
X,Y	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁までとする。 緯度、経度の記載がある場合は省略可。	省略可
座標系	平面直角座標系	省略不可
標高	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁までとする。 水平網のみの場合省略可。	省略可
ジオイド高	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁までとする。 水平網のみの場合省略可。	省略可

6) 属性データ (点の属性を示すデータ)

A02 , 等級, 縮尺係数, 真北方向角, 柱石長, 埋表形式, 標識, 標識番号, CRLF

A02	属性データを示すデータ区分。	省略不可
等級	2桁の整数とする。 10: 電子基準点 11~14: 1等~4等 21~24: 1級~4級	省略不可
縮尺係数	小数点形式、小数点以下6桁までとする。	省略不可
真北方向角	小数点形式(DD°.MM SS S)とし、秒以下1桁までとする。	1,2級は省略不可 3,4級は省略可
柱石長	小数点形式、m単位とし、m以下2桁までとする。	省略可
埋表形式	0: 地上、1: 地中、2: 屋上	省略不可
標識	0: 標石、1: 金属標	省略不可
標識番号	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	1,2級は省略不可 3,4級は省略可

7) 視準データ (視準成果の方向数を示すデータ)

A03 , 方向数, CRLF

A03	視準成果データを示すデータ区分。	省略不可
方向数	2桁の整数とする。	省略不可

8) 視準データ (点の視準成果を示すデータ)

A04 , 点番号, 点名称, 等級, 平均方向角, 距離, 備考, CRLF

A04	視準成果データを示すデータ区分。	省略不可
点番号	5桁の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
等級	2桁の整数とする。 10: 電子基準点 11~14: 1等~4等 21~24: 1級~4級	省略不可
平均方向角	平均方向角は、小数点形式(DD°.MM SS S)とし、秒以下1桁までとする。	省略不可
距離	小数点形式、m単位とし、m以下3桁までとする。	省略不可
備考	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略可

9) 座標出力終了データ (座標データの出力終了を示すデータ)

A99 , CRLF

A99	座標データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

出力例 1

Z00,SEIKA_Ver.1,
Z01,平成 1 3 年度 1 級基準点測量 (範例集データ) ,
Z02,0,9,
A00,
A01,1,広尾,36.02416679,140.09147463,5029.510,28898.460,9,37.150,33.570,
A02,13,0.999910,-0.11195,0.79,0,0,1,
A03,1,
A04,4,1,21,192.13210,747.348,,
A99,

出力例 2

Z00,SEIKA_Ver.1,
Z01,平成 1 3 年度 1 級基準点測量 (範例集データ) ,
Z02,0,9,
A00,
A01,4,1,36.02179849,140.09083291,4299.168,28740.254,9,23.180,34.751,
A02,21,0.999910,-0.11156,0.60,0,1,1,
A03,2,
A04,1,広尾,13,12.13211,747.348,,
A04,5,2,21,183.59117,1329.395,,
A99,

出力例 3

Z00, SEIKA_Ver.1,
Z01,平成 1 3 年度 1 級基準点測量 (範例集データ) ,
Z02,0,9,
A00,
A01,5,2,36.01349635,140.09044637,2973.109,28647.839,9,33.946,42.766,
A02,21,0.999910,-0.11131,0.09,2,1,2,
A03,3,
A04,4,1,21,3.59119,1329.395,,
A04,2,浅川,13,85.14023,1091.503,,
A04,3,上野山,13,262.39258,987.435,,
A99,

3. 水準測量成果表フォーマット

1) コメントデータ (コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可

2) タイトルデータ (業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略不可

3) 種類データ (水準成果の種類を示すデ - タ)

Z03 , 成果の種類 , CRLF

Z03	成果の種類を示すデ - タ区分。	省略不可
成果の種類	桁数の制限はしない。	省略可

4) 座標出力開始データ (座標デ - タの出力開始を示すデ - タ)

S00 , CRLF

S00	座標デ - タの出力開始を示すデ - タ区分。	省略可
-----	-------------------------	-----

5) 座標データ (点の座標を示すデ - タ)

S01 , 点番号 , 点名称 , 緯度 , 経度 , X座標 , Y座標 , 座標系 , 平均標高 , 等級 , CRLF

S01	座標デ - タを示すデ - タ区分。	省略不可
点番号	11 桁の整数を標準とする。	省略不可
点名称	40 バイト以下	省略可
緯度 , 経度	緯度は、小数点形式 (DD° . MM SS SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 経度は、小数点形式 (DDD° . MM SS SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。	省略不可
X,Y,	小数点形式、m単位とし、m以下 3 桁までとする。	省略可
座標系	平面直角座標系	省略不可
平均標高	小数点形式、m単位とし、m以下 4 桁までとする。	省略不可
等級	2 桁の整数とする。 11 ~ 14 : 1 等 ~ 4 等 21 ~ 24 : 1 級 ~ 4 級 25 : 簡易	省略不可

6) 座標出力終了データ (座標デ - タの出力終了を示すデ - タ)

S99 , CRLF

S99	座標デ - タの出力終了を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	-------------------------	------

出力例

Z00,01,SEIK S ,Ver.1,
Z01,平成 1 3 年度 1 級水準測量,
Z03,2000 年度平均成果,
S00,
S01,00000000001,,36.02179849,140.09083291,,,9,144.6150,21,
S01,00000000002,,36.021819491,140.09329108,,,,9,109.7710,21,
S99,

4. 水準測量観測成果表フォーマット

1) コメントデータ (コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可

2) タイトルデータ (業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 種類データ (水準成果の種類を示すデ - タ)

Z03 , 成果の種類 , CRLF

Z03	成果の種類を示すデ - タ区分。	省略不可
成果の種類	桁数の制限はしない。	省略不可

4) 出力開始データ (デ - タの出力開始を示すデ - タ)

P00 , CRLF

P00	水準測量観測成果表の出力開始を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	---------------------------	------

5) 路線開始データ (路線開始を示すデ - タ)

P01 , 路線番号 , CRLF

P01	路線開始を示すデ - タ区分。	省略不可
路線番号	桁数の制限はしない。	省略不可

6) 地区情報データ (測量地区を示すデ - タ)

P02 , 自水準点番号 , 至水準点番号 , 自地区名 , 至地区名 , CRLF

P02	地区情報を示すデ - タ区分。	省略不可
自水準点番号	先頭の自水準点番号を入力する。	省略不可
至水準点番号	最後の至水準点番号を入力する。	省略不可
自地区名	桁数の制限はしない。	省略不可
至地区名	桁数の制限はしない。	省略不可

7) 観測情報データ (観測情報を示すデ - タ)

P03 , 観測者 , 測器名称 , 測器番号 , 標尺名称 , 標尺番号 , 膨張係数 , 標尺係数 , CRLF

P03	観測情報を示すデ - タ区分。	省略不可
観測者	桁数の制限はしない。	省略不可
測器名称	桁数の制限はしない。	省略不可
測器番号	桁数の制限はしない。	省略不可
標尺名称	桁数の制限はしない。	省略不可
標尺番号	桁数の制限はしない。	省略不可
膨張係数	小数点形式、小数点以下 2 桁までとする。	省略不可
標尺係数	小数点形式、小数点以下 2 桁までとする。	省略不可

8) 路線終了データ (路線終了を示すデ - タ)

P04 , CRLF

P04	路線終了を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	-----------------	------

9) 観測比高データ

P05 , 水準点 1 , 水準点 2 , 距離 , 往復観測点数 , 水準差 1 , 水準差 2 , 温度 , 標尺補正数 ,
 観測高低差 , 観測月日 , 変動補正数 , 観測高低差結果 , 備考 , CRLF

P05	観測比高を示すデ - タ区分。	省略不可
水準点 1	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略不可
水準点 2	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略不可
距離	小数点形式、k m単位とし、k m以下 3 桁までとする。	省略不可
往復観測数	整数値とする。	省略不可
水準差 1	小数点形式、m単位とし、m以下 4 桁までとする。	省略不可
水準差 2	小数点形式、m単位とし、m以下 4 桁までとする。	省略不可
温度	単位は摂氏とし、整数値とする。	省略不可
標尺補正数	小数点形式、mm単位とし、mm以下 1 桁までとする。	省略不可
観測高低差	小数点形式、m単位とし、m以下 4 桁までとする。	省略不可
観測月日	月と日を / で区切ることとする。(例 1 / 31)	省略不可
変動補正数	小数点形式、mm単位とし、mm以下 1 桁までとする。地盤沈下調査は省略不可。	省略可
観測高低差結果	小数点形式、m単位とし、m以下 4 桁までとする。地盤沈下調査は省略不可。	省略可
備考	桁数の制限はしない。	省略可

10) 観測点データ

P06 , 水準点番号 , 観測標高 , 楕円補正 , 重力補正 , 結果 , 与点・求点の別 , 備考 , CRLF

P06	共通情報を示すデ - タ区分。	省略不可
水準点番号	P05 で使用されている名称を使用する。	省略不可
観測標高	小数点形式、m単位とし、m以下 4 桁までとする。	省略不可
楕円補正	小数点形式、mm単位とし、mm以下 1 桁までとする。	省略可
重力補正	小数点形式、mm単位とし、mm以下 1 桁までとする。	省略可
結果	小数点形式、m単位とし、m以下 4 桁までとする。	省略不可
与点・求点の別	0 : 求点、1 : 与点	省略不可
備考	桁数の制限はしない。	省略可

11) 距離合計データ (距離合計を示すデ - タ)

P07 , 距離合計 , CRLF

P07	路線距離合計を示すデ - タ区分。	省略不可
距離合計	小数点形式、k m単位とし、k m以下3桁までとする。	省略不可

12) 距離累計データ (距離累計を示すデ - タ)

P08 , 距離累計 , CRLF

P08	路線距離合計を示すデ - タ区分。	省略不可
距離累計	小数点形式、k m単位とし、k m以下3桁までとする。	省略不可

13) 出力終了データ (終了を示すデ - タ)

P99 , CRLF

P99	観測成果表デ - タの出力終了を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	----------------------------	------

データ構造について

P01 ~ P07 のデータは下の構造体を一組とし、必要な路線数分だけ出力される。

Z00
 Z01
 Z03
 P00
 P01
 P02
 P03
 P05 (測線数分)
 P06 (測点数分)
 P07
 P04
 P01
 P02
 P03
 P05 (測線数分)
 P06 (測点数分)
 P07
 P04
 P01
 P02
 P03
 P05 (測線数分)
 P06 (測点数分)
 P07
 P04
 P08
 P99

出力例

Z00,SEIKAVer.1,
Z01,平成13年度1級水準測量,
Z03,2001年度観測成果,
P00,
P01,1,
P02,BM.1,BM.2, 県 郡 町, 県 郡 町,
P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
P05,BM.1,41,1.300,34,4.5476,-4.5464,8,0.0,4.5470,1/28,,,
P05,41,BM.2,1.206,32,-8.5199,8.5189,6,0.0,-8.5194,1/28,,,
P06,BM.1,5.1245,,5.1245,0,199 年平均成果,
P06,41,9.6715,0.0,,9.6715,1,,
P06,BM.2,1.1521,0.0,,1.1521,0,,
P07,2.506,
P04,
P01,2,
P02,BM.2,42, 県 郡 町, 県 郡 町,
P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
P05,BM.2,43,1.365,34,3.1216,-3.1206,9,0.0,3.1211,1/29,,,
P05,43,42,1.005,28,-2.2469,2.2453,11,0.0,-2.2461,1/28,,,
P06,BM.2,1.1515,,1.1515,0,199 年平均成果,
P06,43,4.2726,0.0,,4.2726,1,,
P06,42,2.0265,0.0,,2.0265,1,,
P07,2.370,
P04,
P01,3,
P02,42,BM.1, 県 郡 町, 県 郡 町,
P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
P05,42,BM.1,1.405,36,3.0973,-3.0967,8,0.0,3.0970,1/30,,,
P06,42,2.0265,,2.0265,1,,
P06,BM.1,5.1235,0.0,,5.1235,0,0,,
P07,1.405,
P04,
P01,4,
P02,BM.2, BM.3, 県 郡 町, 県 郡 町,
P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
P05,BM.2,44,1.023,28,6.4706,-6.4716,8,0.0,6.4711,1/30,,,
P05,44,45,1.102,26,-3.0899,3.0891,7,0.0,-3.0895,1/31,,,
P05,45,BM.3,1.082,26,-2.5430,2.5434,5,0.0,-2.5432,1/31,,,
P06,BM.2,1.1515,,1.1515,0,199 年平均成果,
P06,44,7.6226,0.0,,7.6226,1,,
P06,45,4.5331,0.0,,4.5331,1,,
P06,BM.3,1.9899,0.0,,1.9899,0,,
P07,3.207,
P04,
P01,5,
P02,BM.3, 42, 県 郡 町, 県 郡 町,
P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
P05,BM.3,42,1.395,40,0.0375,-0.0387,4,0.0,0.0381,1/31,,,
P06,BM.3,1.9890,,1.9890,0,199 年平均成果,
P065,42,2.0271,0.0,,2.0271,1,,
P07,1.395,
P04,
P08,10.883,
P99,